
インストールマニュアル

Terra AC

著作権

著作権、登録商標、商標の権利はすべて、それぞれの所有主に帰属します。
Copyright © ABB E-Mobility B.V. 無断複製・転載を禁じます。

目次

0	改訂履歴	7
1	本書の概要	8
1.1	本書の目的.....	8
1.2	対象者.....	8
1.4	言語.....	8
1.5	図.....	8
1.6	測定単位.....	8
1.7	表記慣例.....	8
1.8	本書の使用方法.....	8
1.9	標準的な記号と標記.....	9
1.10	危険や警告に関する特殊記号.....	10
1.11	関連文書.....	10
1.12	製造元と連絡先情報.....	11
1.13	略語集.....	11
1.14	用語集.....	11
1.15	方向の定義.....	12
2	説明	13
2.1	概要.....	13
2.2	使用目的.....	13
2.5	製品ラベル（日本仕様）	16
2.6	動作原理.....	17
2.7	概要.....	18
2.7.1	システムの各部名称.....	18
2.7.2	EVSE の各部名称（外部）	18
2.7.5	EVSE の各部名称（内部、UL 仕様と日本仕様）	22
2.7.6	EVSE の各部名称（内部、ディスプレイ搭載の UL 仕様と日本仕様）	23
2.8	オプション.....	24
2.8.1	ディスプレイ.....	24
2.8.2	EV 充電ケーブル（タイプ 2）	24
2.8.3	ソケット（タイプ 2）	24
2.8.4	EV 充電ケーブル（タイプ 1、UL 仕様と日本仕様）	25
2.8.5	4G 通信.....	25
2.8.6	負荷調整	25
2.9	制御部.....	26
2.9.1	LED インジケータ.....	26
2.10	試運転用の TerraConfig アプリ	27

2.11	ディスプレイ画面の説明（オプション）	27
2.11.1	起動画面	27
2.11.2	スタンバイ/アイドル画面	28
2.11.3	認証画面	28
2.11.4	充電準備画面	29
2.11.5	充電画面	29
2.11.6	充電完了画面	30
2.11.7	障害検出時の画面メッセージ	30
3	安全性	32
3.1	有限責任	32
3.2	設置技術者に必要な資格	32
3.3	個人用保護具	32
3.4	FCC 準拠声明	32
3.5	カナダ産業省の準拠声明	33
3.6	一般的な安全指示	33
3.7	EVSE に表示される記号	34
3.8	EVSE の全体または一部の廃棄	34
3.9	接地時の安全上の注意事項	35
3.10	特殊な安全上の注意事項（IEC 仕様）	35
3.10.1	設置時の安全上の注意事項	35
3.11	特殊な安全上の注意事項（UL 仕様）	35
3.11.1	追加の重要な安全上の注意事項	35
4	設置	37
4.1	一般的な設置手順	37
4.2	EVSE を梱包材から取り出す	37
5	設置場所の準備	38
5.1	設置場所の選択	38
5.3	設置場所の準備（UL 仕様と日本仕様）	38
6	充電器本体の設置	39
6.1	一般的な充電器本体の設置手順	39
6.2	取り付けネジの穴の準備	39
6.3	上の取り付けネジの設置	39
6.4	EVSE の壁面への設置	40

7	電気配線のインストール.....	41
7.1	一般的な電気回路の設置手順.....	41
7.2	AC 入力ケーブルの挿入.....	41
7.3	AC 入力ケーブルの接続.....	42
	7.3.4 AC 入力ケーブルの接続（日本仕様）	43
	7.3.5 ケーブルの固定.....	44
7.4	通信接続.....	44
	7.4.1 イーサネットケーブルの挿入.....	44
	7.4.2 イーサネットケーブルの接続.....	45
	7.4.3 スマートメーターの通信ケーブルの挿入.....	46
	7.4.4 スマートメーターの通信ケーブルの接続.....	46
	7.4.5 Nano-M2M SIM カードの挿入.....	47
7.5	EV 充電ケーブルの交換.....	47
	7.5.4 EV 充電ケーブルの交換（日本仕様）	49
8	試運転.....	51
8.1	一般的な試運転手順.....	51
8.2	EVSE の通電.....	51
8.3	EVSE のセットアップ.....	51
9	各部へのアクセス.....	53
9.1	キャビネットカバーの取り外し.....	53
9.2	キャビネットカバーの取り付け.....	53
9.3	メンテナンスカバーの取り外し.....	54
	9.3.1 メンテナンスカバーの取り外し（ディスプレイのない EVSE）	54
	9.3.2 メンテナンスカバーの取り外し（ディスプレイ付き EVSE）	54
9.4	メンテナンスカバーの設置.....	55
	9.4.1 メンテナンスカバーの設置（ディスプレイのない EVSE）	55
	9.4.2 メンテナンスカバーの設置（ディスプレイ付きの EVSE）	55
9.5	内部カバーの取り外し.....	56
	9.5.1 内部カバーの取り外し（ディスプレイのない EVSE）	56
	9.5.2 内部カバーの取り外し（ディスプレイ付きの EVSE）	56
9.6	内部カバーの設置.....	57
	9.6.1 内部カバーの設置（ディスプレイのない EVSE）	57
	9.6.2 内部カバーの設置（ディスプレイ付きの EVSE）	57

10	トラブルシューティング.....	58
10.1	トラブルシューティング手順.....	58
10.3	トラブルシューティング表 (UL 仕様と日本仕様)	61
10.4	EVSE の通電を遮断してください.....	64
11	技術仕様.....	65
11.1	EVSE のタイプ.....	65
11.2	一般仕様.....	66
11.3	周囲環境.....	67
11.4	重量.....	67
11.5	保護機器の準拠.....	68
	11.5.1 保護機器の準拠 (IEC 仕様と日本仕様)	68
11.6	納品時に含まれる部品.....	69
11.7	設置に必要な工具.....	69
11.8	壁面の要件.....	70
11.9	ノイズレベル.....	70
11.10	寸法.....	70
	11.10.2 EV 充電ケーブルの AC 入力.....	71
	11.10.3 設置に必要な空間要件.....	72
11.11	AC 入力電源仕様.....	72
	11.11.1 一般仕様.....	72
	11.11.5 200 VAC (日本仕様)	74
	11.11.8 AC 入力仕様 (日本仕様)	74
11.12	標準論理インターフェース仕様.....	75
11.13	ケーブル仕様.....	75
	11.13.2 AC 入力ケーブル (UL 仕様と日本仕様)	76
	11.13.3 イーサネットケーブルの仕様.....	76
	11.13.4 RS485 ケーブルの仕様.....	76
	11.13.5 乾式接点入力.....	77
	11.13.6 乾式接点の出力.....	77
	11.13.8 EV 充電ケーブル仕様 (仕様 UL 仕様と日本仕様)	78
11.14	AC 出力仕様.....	78
	11.14.1 AC 出力仕様 (IEC 仕様)	78
	11.14.2 AC 出力仕様 (UL 仕様)	78
	11.14.3 AC 出力仕様 (日本仕様)	78
11.15	締め付けトルク仕様.....	78

0

改訂履歴

バージョン	日付	説明
001	2020年3月	初版
002	2021年4月	文書の全面改訂
003	2022年5月	日本向けの技術情報追加
004	2024年9月	11.15 記載変更 AC端子ブロックの締付トルク 1.2Nm → 2.2Nm
005	2025年2月	11.15 記載変更 AC端子ブロックの締付トルク 2.2Nm → シリアルナンバーにて確認 日本向け仕様以外の技術情報削除 2.3, 2.4, 2.7.3, 2.7.4, 2.8.1, 2.2, 2.8.3, 2.11, 5.2, 7.3.1, 7.3.2, 7.3.3, 7.5.1, 7.5.2, 7.5.3, 9.3.2, 9.4.2, 9.5.2, 9.6.2, 10.2, 11.5.2, 11.5.3, 11.10.1, 11.11.2, 11.11.3, 11.11.4, 11.11.6, 11.11.7, 11.13.1, 11.13.7, 11.14.1, 11.14.2 改訂履歴の記載箇所変更 1.3 → 0 TerraConfigスマートフォンアプリ 取扱説明書の追加
006	2025年7月	グロメットの穴の開け方の記載変更 7.2, 7.4.1, 7.4.3

1 本書の概要

1.1 本書の目的

本書は本 EVSE (Terra AC)と、11.1 章に記載された派生品およびオプションのみに適用されます。本書にて、EVSE はこれ以降、EVSE と称されます。

本書は以下の作業に必要な情報を提供します。

- 設置
- 試運転

1.2 対象者

本書は資格を有するインストール技術者を対象とします。必要な資格の詳細は 3.2 章をご覧ください。

1.4 言語

本書は英語（アメリカ英語）をオリジナルとします。その他すべての言語のバージョンは、オリジナルの翻訳となります。

1.5 図

EVSE のすべての構成を図示することはできません。本書内の図は標準的な構成を紹介しています。図は指示と説明のみを目的としています。

1.6 測定単位

SI 測定単位（メートル法）が使用されます。必要に応じて、本書では括弧()内または表内の独立した列にて他の単位を示します。

1.7 表記慣例

手順の項目やステップで順序が重要となる場合は、数字 (1/2/3) または文字 (a/b/c) で示されます。



1.8 本書の使用方法

1. 本書の構成と内容をよくお読みください。
2. 安全に関する章を読み、指示内容をすべて理解できるようにしてください。

3. 手順内のステップすべてを、正しい順序で実施してください。
4. 本書はすぐに手の届く安全な場所に保管してください。本書は EVSE の一部を構成します。

1.9 標準的な記号と標記

標記	説明	記号
危険	指示に従わないと、怪我や死亡事故の原因となります。	1.10 章をご覧ください。
警告	指示に従わないと、怪我の原因となります。	1.10 章をご覧ください。
注意	指示に従わないと、EVSE や資産の破損の原因となります。	
ヒント	ヒントは、より簡単に手順をこなすための方法など、役に立つ情報を提供します。	
-	手順を開始する前の EVSE の条件に関する情報。	
-	手順を実行する際に複数の人員が必要な場合。	
-	手順に関する一般的な安全上の注意事項。	
-	手順の実行に必要なスペアパーツに関する情報。	
-	手順の実行に必要な補助装置に関する情報。	
-	手順の実行に必要な供給物（消耗材）に関する情報。	
-	EVSE の電源接続が外れていることを確認すること。	

標記	説明	記号
-	現地規制に基づき、電子技術の専門知識が必要。	
-	交流電源電流	



メモ：本書ですべての記号や標記が使用されるとは限りません。

1.10 危険や警告に関する特殊記号

記号	リスクの種類
	一般的なリスク
	感電のリスクを伴う危険電圧
	身体の部位を挟み込んだり圧碎するリスク
	閉じ込められるリスクを伴う回転部品
	火傷のリスクを伴う高熱の表面



メモ：本書ですべての記号が使用されるとは限りません。

1.11 関連文書

文書名	対象者
製品データシート	すべての関係者
設置マニュアル	資格を有する設置技術者
ユーザーマニュアル	所有者
適合宣言 (CE)	すべての関係者

すべての関連文書はこちらからご覧いただけます : <https://new.abb.com/ev-charging/terra-ac-wallbox>。

1.12 製造元と連絡先情報

製造元

ABB E-Mobility B.V.
Heertjeslaan 6
2629 JG Delft
The Netherlands

連絡先

所在国の ABB E-Mobility B.V. が EVSE のサポートを提供します。連絡先のデータはこちらをご覧ください : <https://new.abb.com/ev-charging>

1.13 略語集

略語	定義
AC	交流電流
BESS	バッテリーエネルギー貯蔵システム
CAN	コントローラエリアネットワーク
CPU	中央演算処理装置
DC	直流電流
EMC	電磁適合性
EV	電気自動車
EVSE	電気自動車電源装置
MID	測定機器指令
NFC	近距離無線通信
NoBo	認定機関
OCPP	オープンチャージポイントプロトコル
PE	保護接地
PPE	個人用保護具
RFID	無線周波数識別



メモ : 本書ですべての略語が使用されるとは限りません。

1.14 用語集

用語	定義
製造元のネットワーク運用センター	EVSE が正常動作しているかどうかを遠隔で検査する製造元の施設
キャビネット	内部コンポーネントを含む、EVSE のエンクロージャ

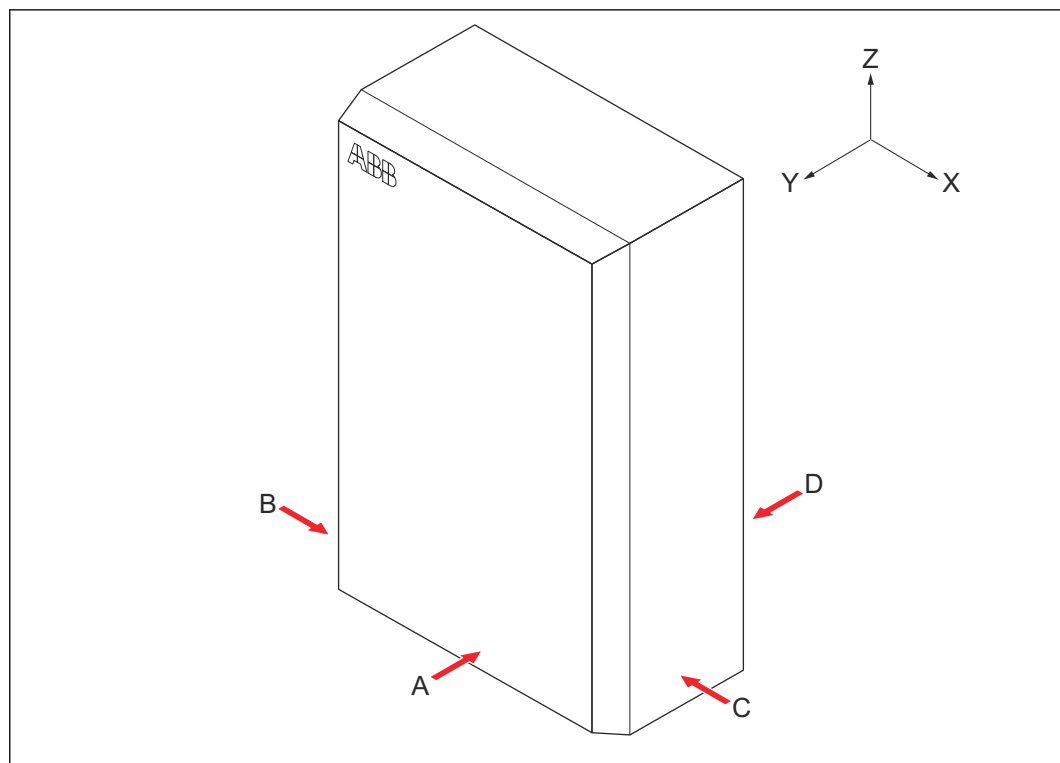
用語	定義
契約業者	所有者もしくは現場の運用業者が技術、土木、電気関連の設置作業を行うために雇用する第三者
電力会社	電力の伝達と配信に責任を負う企業
現地規則	EVSE の寿命全体にわたって、EVSE に適用されるすべての規則。現地規則には国家の法規制も含まれます。
オープンチャージポイント プロトコル	充電ステーションとの通信を司るオープン規格
所有者	EVSE の法的所有者
現場の運用業者	EVSE の日常的な管理に責任を負う人物または組織。現場の運用業者は所有者である必要はありません。
ユーザー	EVSE を使用して EV を充電する、EV の所有者。



メモ：本書ですべての用語が使用されるとは限りません。

1.15

方向の定義



- A 前面：EVSE の通常使用時の前面
- B 左側
- C 右側
- D 背面

- X X 方向（右側に向かって増加）
- Y Y 方向（後方に向かって増加）
- Z Z 方向（上に向かって増加）

2 説明

2.1 概要

EVSE (Terra AC)は、EV へ電力を供給する AC 充電ステーションです。Terra AC は、企業または家庭へ、カスタマイズされたインテリジェントなネットワーク充電ソリューションを提供します。EVSE は GSM、WiFi、LAN 経由でインターネットへ接続できます。

2.2 使用目的

EVSE は EV の AC 充電を意図しています。EVSE は屋内と屋外の使用を意図しています。EVSE の技術データは、電力系統の特定、周囲条件、EV に適合する必要があります。11 章をご覧ください。

製造元が提供するか、現地規則に適合した付属品を備える EVSE のみを使用してください。

EVSE の AC 入力は、該当する国家規制に適合した固定配線の設置を前提とします。

危険：



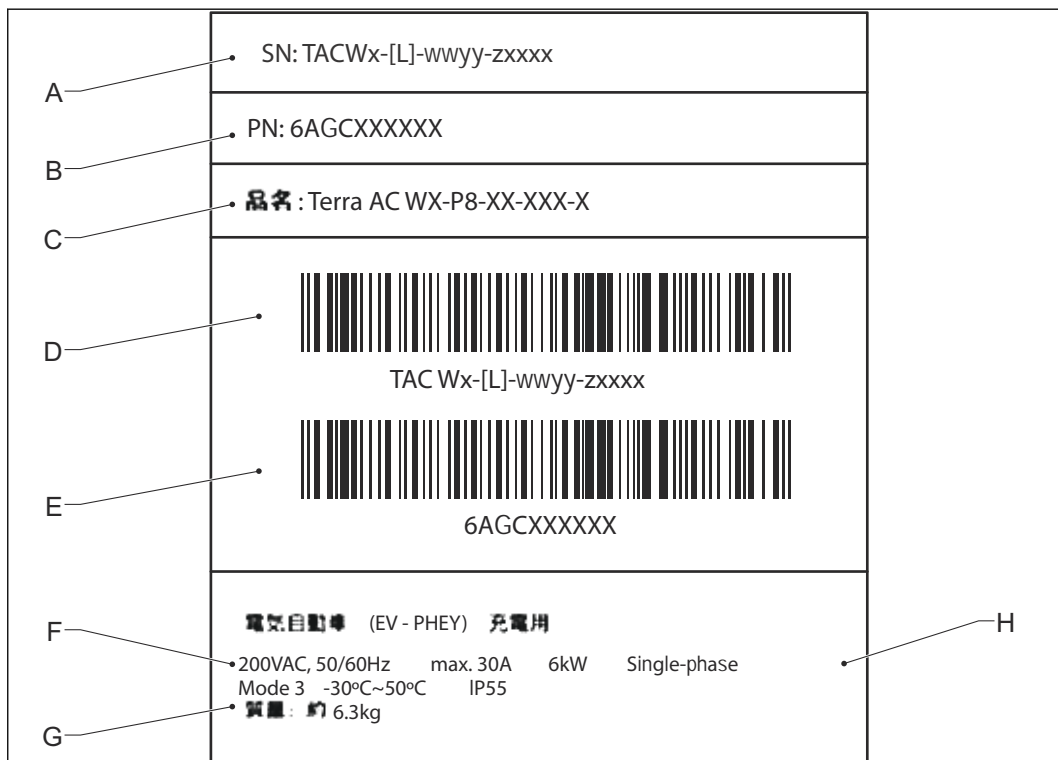
一般的なリスク

- EVSE を関連する文書に記載された以外の方法で使用すると、死亡事故、怪我、資産の破損の原因となります。
- EVSE は意図された目的でのみ使用してください。

余白

余白

2.5 製品ラベル (日本仕様)

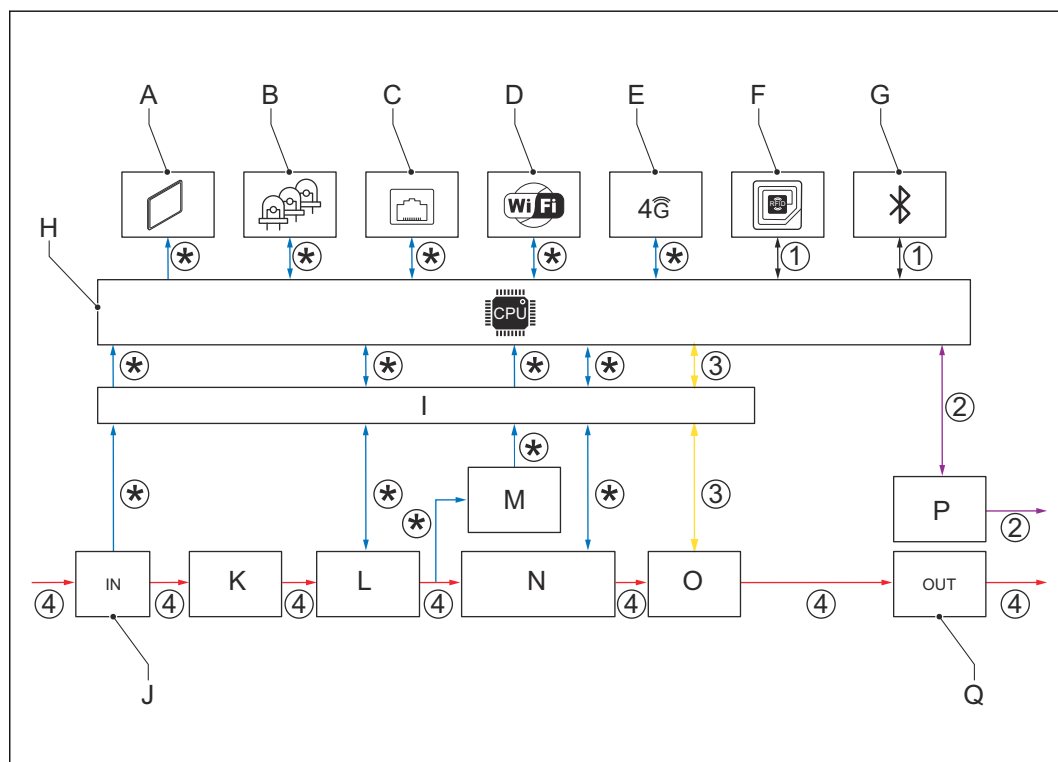


- | | | | |
|---|-------------------------|---|-----------------------|
| A | シリアル番号 | E | EVSE の製品番号が記載されたバーコード |
| B | EVSE の製品番号 | F | EVSE の電力定格 |
| C | 製品のモデル番号 | G | EVSE 重量 |
| D | EVSE のシリアル番号が記載されたバーコード | H | 周囲温度仕様 |



メモ: 図のデータは参考例です。実際のデータはお使いの EVSE のラベルを参照してください。2.7.2 章をご覧ください。

2.6 動作原理



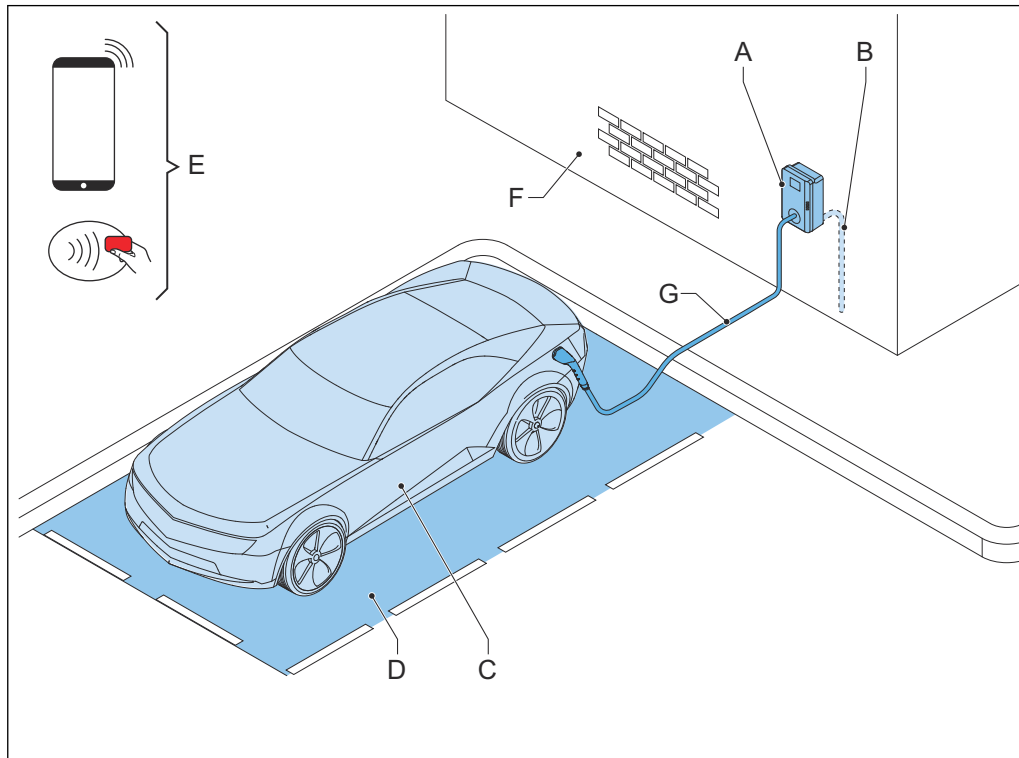
A	ディスプレイ	J	AC/DC 電源
B	LED	K	AC 入力
C	イーサネット	L	サージ保護
D	WiFi	M	アース (接地) 不良保護
E	4G	N	AC 入力の計量
F	RFID	O	AC 絶縁リレー
G	Bluetooth	P	制御パイロット
H	CPU システム	Q	AC 出力
I	絶縁		

1. ユーザーが充電セッションをリクエストします (黒色の線)。
2. EVSE が EV の状態を検証します (紫色の線)。
3. EVSE がオンになり、AC 電源が EV へ供給されます (黄色の線)。
4. 充電セッションが開始されます。AC 電源が電力系統から EV へ流れます (赤色の線)。
5. EVSE の電子インターフェースがオンボードのコンピューターと通信します (青色の線)。

(*) : EVSE の各部と CPU システム間の接続。矢印は入力信号と出力信号の方向を示します。

2.7 概要

2.7.1 システムの各部名称



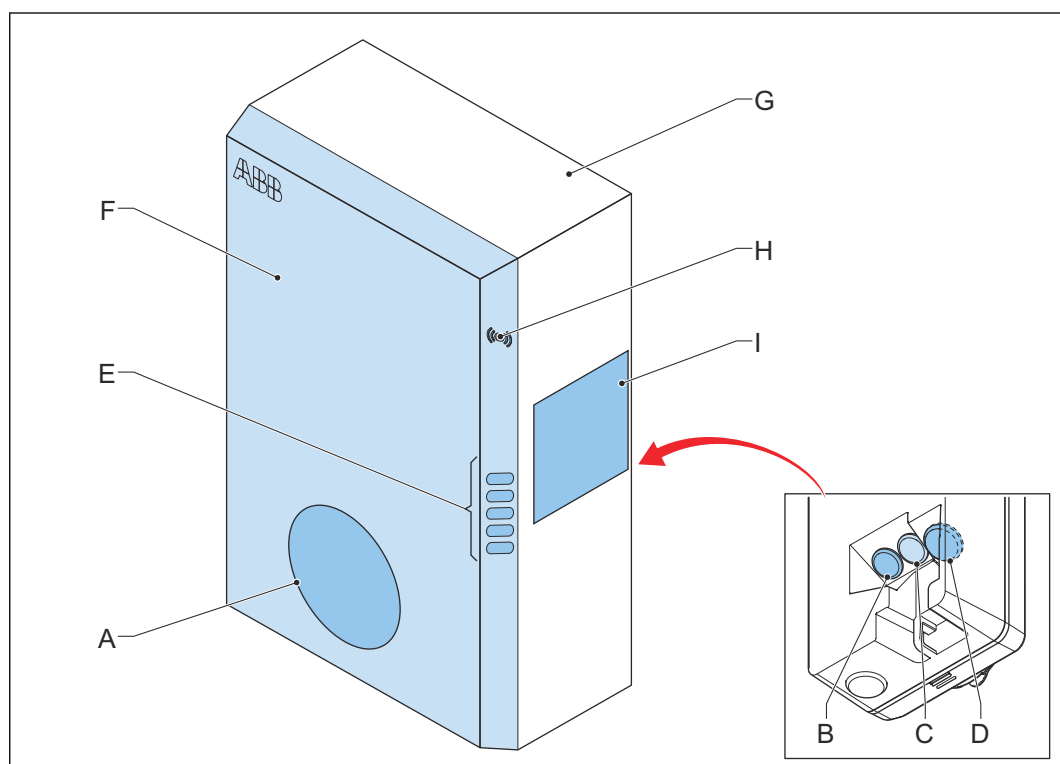
- | | | | |
|---|--------------|---|--------------------|
| A | EVSE | E | RFID カードまたはスマートフォン |
| B | AC 電力系統からの入力 | F | EVSE を設置する建物 |
| C | EV | G | EV 充電ケーブル |
| D | 駐車位置 | | |

部位	機能
EVSE	2.2 章をご覧ください。
建物	EVSE を設置して固定する施設です。
AC 電力系統からの入力	EVSE へ電力を供給します
EV 充電ケーブル	EVSE から EV へ電流を流します。
EV	バッテリーを充電する必要がある EV です
駐車位置	充電中の EV 位置です
RFID カードまたはスマートフォン	ユーザーが EVSE を使用する許可を与えます

2.7.2 EVSE の各部名称 (外部)



メモ：図はディスプレイを搭載していない EVSE を示します。



- | | | | |
|---|-----------------|---|------------|
| A | EV 充電ケーブルの接続部 | F | キャビネットのカバー |
| B | スマートメーターの接続用開口部 | G | エンクロージャ |
| C | イーサネットケーブルの開口部 | H | RFID リーダー |
| D | AC 入力ケーブルの開口部 | I | 製品ラベル |
| E | LED インジケータ | | |

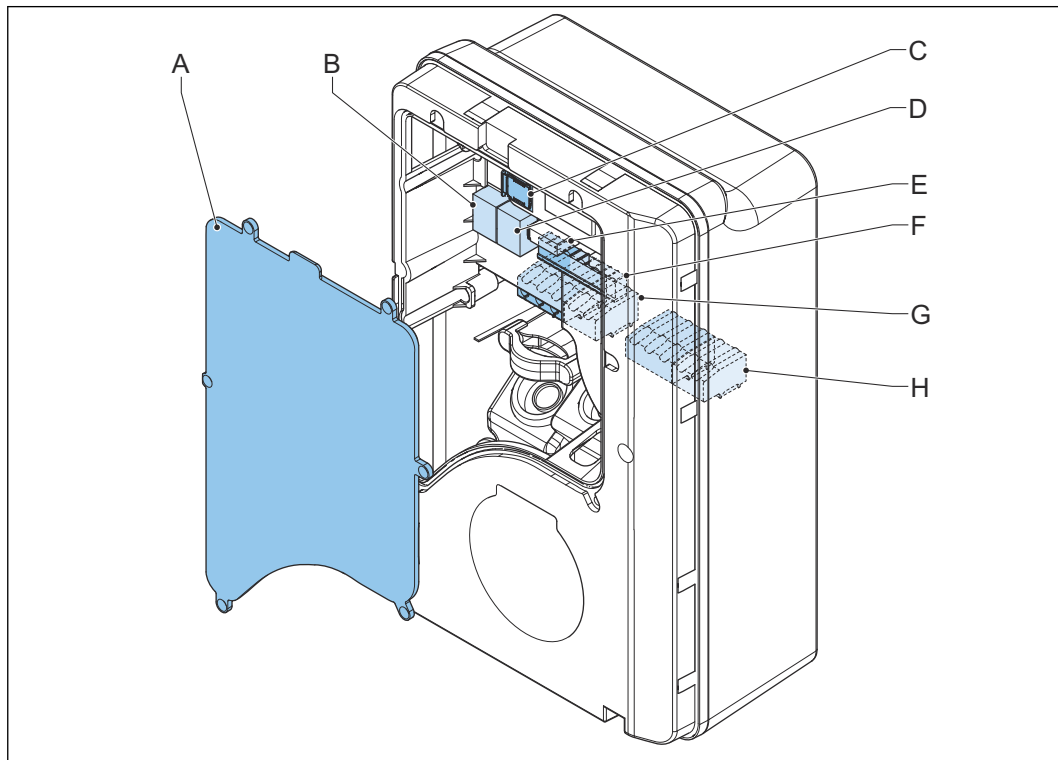
部位	機能
EV 充電ケーブルの接続部	EV 充電ケーブルを接続します
開口部	EVSE 内へ接続されるケーブルを通します
LED インジケータ	EVSE と充電セッションの状態を示します。2.9.1 章をご覧ください。
キャビネットのカバー	EVSE の設置とメンテナンスの際にユーザーが部品に触れないようにします
エンクロージャ	資格を有さない人員が EVSE 内部に触れないようにします
RFID リーダー	RFID カードで充電セッションの開始と停止を許可します
製品ラベル	EVSE の識別データを示します。2.3 章をご覧ください。

説明

余白

余白

2.7.5 EVSE の各部名称（内部、UL 仕様と日本仕様）

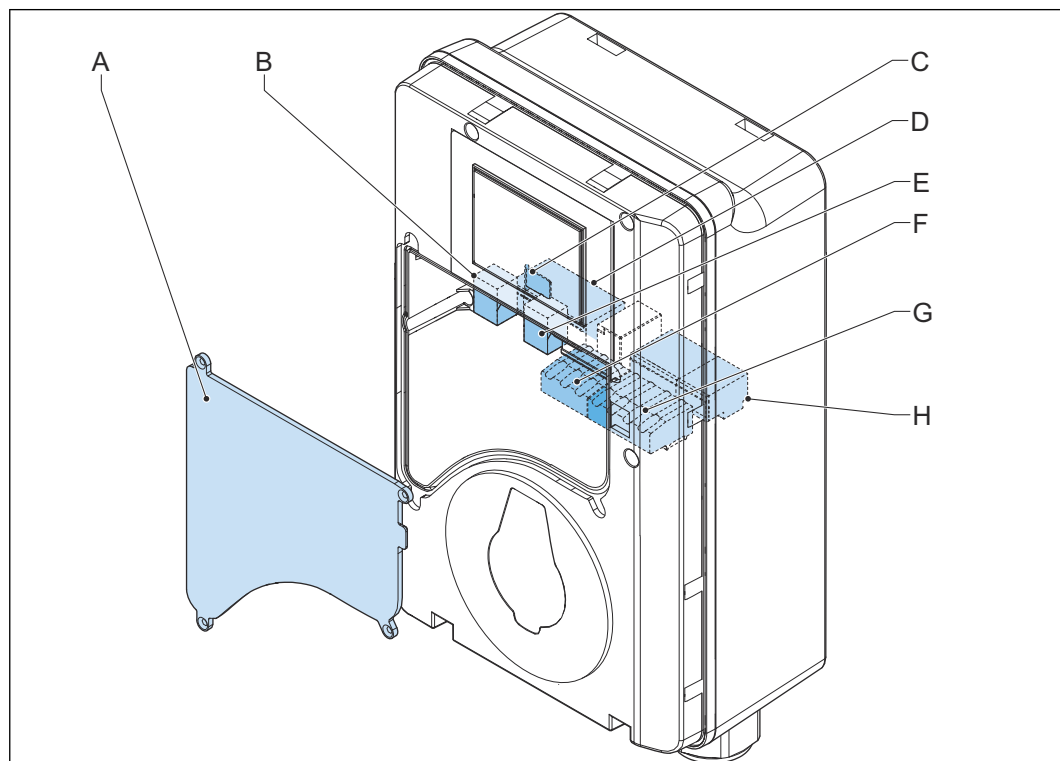


- | | | | |
|---|-----------------------|---|-------------------------|
| A | メンテナンスカバー | E | スマートメーターの接続部 |
| B | プライマリーイーサネット接続 | F | 乾式入力/出力接点の端子ブロック |
| C | Nano-M2M SIM カード用ソケット | G | AC 入力の端子ブロック |
| D | セカンダリーイーサネット接続 | H | EV 充電ケーブルまたはソケットの端子ブロック |

部位	機能
メンテナンスカバー	EVSE の電子コンポーネントに触れられないよう保護します
プライマリーイーサネット接続	イーサネットケーブルを接続します
Nano-M2M SIM カード用ソケット	EVSE を内蔵の 4G へ接続します
セカンダリーイーサネット接続	1 本のイーサネットケーブル接続を複数の EVSE で使用できるようにします。EVSE 間では通信は行われません。
スマートメーターの接続部	Modbus RTU - RS485 のケーブルを接続します
乾式入力/出力接点の端子ブロック	未使用
AC 入力の端子ブロック	AC 入力ケーブルを電力系統へ接続します
EV 充電ケーブルまたはソケットの端子ブロック	EV 充電ケーブルまたは出力ソケットを接続します

2.7.6

EVSE の各部名称 (内部、ディスプレイ搭載の UL 仕様と日本仕様)

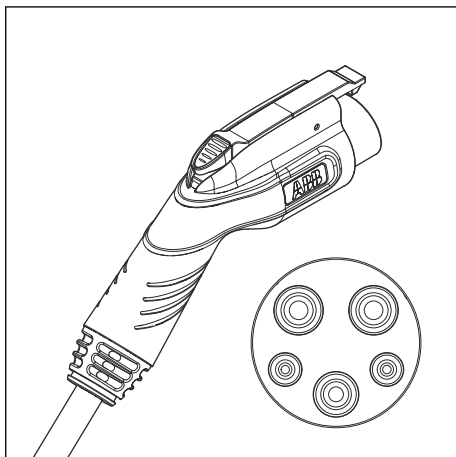


- | | | | |
|---|-----------------------|---|-------------------------|
| A | メンテナンスカバー | E | セカンダリーサネット接続 |
| B | プライマリーサネット接続 | F | スマートメーターの接続部 |
| C | Nano-M2M SIM カード用ソケット | G | 乾式入力/出力接点の端子ブロック |
| D | AC 入力の端子ブロック | H | EV 充電ケーブルまたはソケットの端子ブロック |

部位	機能
メンテナンスカバー	EVSE の電子コンポーネントに触れられないよう保護します
プライマリーサネット接続	イーサネットケーブルを接続します
Nano-M2M SIM カード用ソケット	EVSE を内蔵の 4G へ接続します
AC 入力の端子ブロック	AC 入力ケーブルを電力系統へ接続します
セカンダリーサネット接続	1 本のイーサネットケーブル接続を複数の EVSE で使用できるようにします。EVSE 間では通信は行われません。
スマートメーターの接続部	Modbus RTU - RS485 のケーブルを接続します
乾式入力/出力接点の端子ブロック	未使用
EV 充電ケーブルまたはソケットの端子ブロック	EV 充電ケーブルまたは出力ソケットを接続します

2.8 オプション

2.8.4 EV 充電ケーブル（タイプ 1、UL 仕様と日本仕様）



2.8.5 4G 通信

4G ネットワークへ接続できません（対応モデルのみ）。

2.8.6 負荷調整

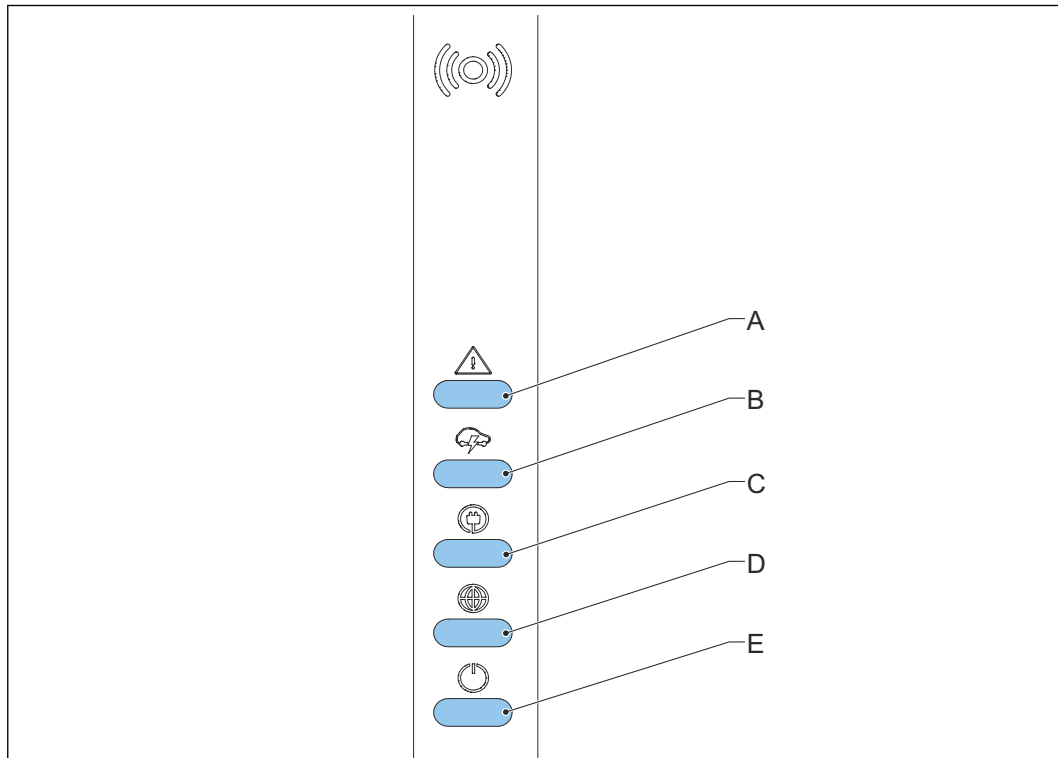
負荷調整は、建物や家屋で利用可能な電気容量を超えないようにするためのものです。容量に限界のある電力系統には多数のデバイスが接続されます。電力系統に接続されるこうしたデバイスの合計負荷は、電力系統の容量を超えてはなりません。

負荷調整機能はシステムが電力系統の容量を超えないよう保護して、ヒューズが破断しないようにします。電流負荷が高すぎる場合、EVSE は出力電流を下げます。電力系統に余裕ができれば、電流が再び上昇します。

また、負荷調整機能は、利用可能な負荷が最適に配分されるようにします。

2.9 制御部

2.9.1 LED インジケータ



- A エラー LED
- B 充電 LED
- C ケーブルと EV の検出、および EV の認証 LED
- D インターネット接続 LED
- E EVSE オン/オフ LED

表 1：エラー LED

LED の状態	EVSE の状態
点灯	エラー
消灯	正常

表 2：充電 LED

LED の状態	EVSE の状態
点灯	EV はフル充電されているか、充電が停止しています
消灯	EV は充電されていません
点滅	EV は充電中です

表 3：ケーブルと EV の検出、および EV の認証 LED

LED の状態	EVSE の状態
点灯	EV が接続されており。接続は許可されています。
消灯	EV は接続されていません
点滅	EV が接続されており、接続許可を待っています

表 4：インターネット接続 LED

LED の状態	EVSE の状態
点灯	インターネットに接続されています
消灯	インターネットに接続されていません
点滅	インターネットの接続を確立中です

表 5：EVSE オン/オフ LED

LED の状態	EVSE の状態
点灯	EVSE はオンです
消灯	EVSE はオフです
点滅	EVSE はセットアップ中です

2.10

試運転用の TerraConfig アプリ

TerraConfig アプリは *Apple Store* と *Google Play Store* から入手できます。試運転にはこのアプリが必要です。

余白

余白

説明

余白

余白

3 安全性

3.1 有限責任

製造元は EVSE の購入者または第三者に対し、関連文書に記載された対象者が以下の規定を守らない場合、購入者または第三者が被った損害、損失、費用、出費に責任を負うことはありません。

- 関連文書の指示に従うこと。1.11 章をご覧ください。
- EVSE を乱用または誤用しないこと。
- 製造元が書面にて許可しない限り、EVSE に変更を加えないこと。

3.2 設置技術者に必要な資格



- 資格を有する設置技術者は EVSE とその安全な設置を熟知していること。
- 設置技術者は該当する現地規則に従い作業を行う資格を有していること。
- 資格を有する設置技術者はすべての現地規則と、設置マニュアルの指示に従うこと。
- 資格を有するすべての設置技術者が現地規則、設置マニュアル、EV 充電器の仕様に従うことを保証するのは EV 充電器所有者の責任となります。

3.3 個人用保護具

記号	説明
	保護衣服
	安全手袋
	安全靴
	保護メガネ

3.4 FCC 準拠声明



注意： 準拠に責任を負う人物または組織が明示的に承認していない変更または改造を行った場合、ユーザーは本装置を使用する権限を失います。



メモ：本装置は FCC 規則パート 15 に従い、クラス B デジタル機器の制限に準拠することが試験によって確認されています。これらの制限は、居住地での有害な干渉に対し妥当な保護を提供する目的で設定されています。本装置は無線周波数のエネルギーを生成、使用、放射し、指示に従って設置し使用されない場合、無線通信へ有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置環境では干渉を起こさない保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に対して有害な干渉を引き起こし、装置の電源をオンオフして確認できる場合、ユーザーは以下の手段の 1 つ以上を用いて干渉を抑制することが推奨されます。

- 受信アンテナの向きや位置を変える。
- 本装置と受信機との距離を広げる。
- 本装置を受信機とは別の電力回路のコンセントへ接続する。
- 代理店または経験豊富なラジオ/テレビの技術者へ支援を求める。

3.5

カナダ産業省の準拠声明

本機器は、カナダのイノベーション・科学・経済開発省のライセンス免除 RSS に準拠する、ライセンス免除の送信機/受信機を内蔵しています。以下の 2 つの条件に従って動作させる必要があります。

- 本機器は干渉を引き起こさないこと。
- 本機器は、機器の動作に支障を来たす干渉を含め、いかなる干渉にも影響されないこと。

RF 暴露声明

本装置は、管理不可能な環境に向けて設定された IC 放射暴露限界に準拠します。本装置は、放射源と人体の間に少なくとも 20cm の距離を設けて、設置し操作する必要があります。

3.6

一般的な安全指示

- 本書、関連文書、記載された警告は、EVSE を操作する場合に常識を用いる責任を免除するものではありません。
- 関連文書に記載されている手順のみを実施し、操作する資格を有する作業のみを行ってください。
- 現地の規制と本書の指示に従ってください。現地の規制が本書の指示と矛盾する場合は、現地の規制が優先されます。

本書の要件や手順と現地の規制が一致しないか矛盾する場合、法律で許可されている範囲で、本書の要件と現地の規制を比較して、より厳しい要件に従ってください。

3.7 EVSE に表示される記号

記号	説明
	一般的なリスク
	感電のリスクを伴う危険電圧
	身体の部位を挟み込んだり圧碎するリスク
	閉じ込められるリスクを伴う回転部品
	火傷のリスクを伴う高熱の表面
	クラス 1 機器
	EVSE の設置前にマニュアルを読む必要があることを示す記号
	電子機器と電気機器の廃棄物



メモ：EVSE ですべての記号が表示されるとは限りません。

3.8 EVSE の全体または一部の廃棄

廃棄物の処理を正しく行わないと、危険の可能性のある物質が原因で、環境と人体に悪影響が及ぶことがあります。本製品を正しく廃棄することで、素材の再利用とリサイクル、および環境保護に貢献できます。

- 部品、梱包材、EVSE の廃棄は現地規則に従って行ってください。
- 電気機器と電子機器の廃棄に関する WEEE - 2012/19/EU 指令に準拠し、電気機器と電子機器を分別して廃棄してください。
- EVSE に表示される「X」印の付いたごみ箱が示しているように、EVSE が使用末期に達して廃棄する場合は、家庭ごみに混ぜてはなりません。EVSE はリサイクル用の地域別廃棄物回収場へ引き渡してください。
- 詳細は、居住国での廃棄物処理当局へお問い合わせください。

3.9 接地時の安全上の注意事項

使用前の準備

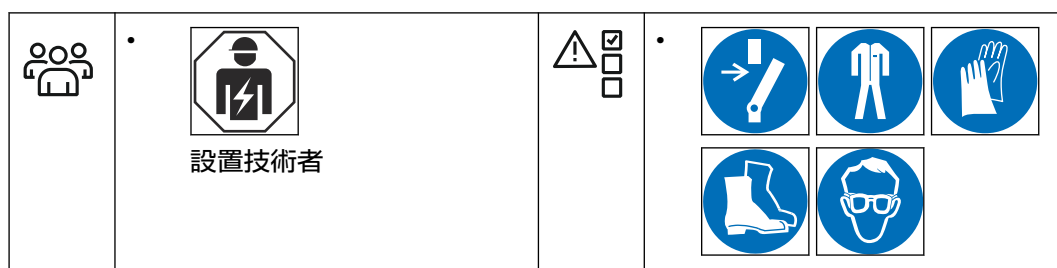


- EVSE を接地する際に、金属製の恒久的な配線システムまたは装置の接地用導体を回路の導体の一部とし、装置の接地端子または製品のリード線へ接続する必要があります。
- EVSE への接続は、該当する現地規則すべてに準拠させてください。

3.10 特殊な安全上の注意事項

3.10.1 設置時の安全上の注意事項

使用前の準備



- 設置手順の全体を通して、AC 入力ケーブルが通電していないようにしてください。
- 設置時は資格を有さない人員を安全な距離まで遠ざけてください。
- 定格電流と電圧を扱う際は、十分な径と絶縁を備える配線のみを使用してください。
- 電力システムの負荷容量が EVSE に適合することを確かめてください。
- EVSE は適切に接地してください。3.9 章をご覧ください。
- EVSE 内部の配線を破損から守り、キャビネットの開閉時に挟まれないようにしてください。
- キャビネットに浸水しないようにしてください。
- EVSE を、現地規則で指定された安全機器と対策で保護してください。
- 安全機器を取り外す必要がある場合は、作業終了後に安全機器を直ちに元通り設置してください。
- 適切な個人用保護具を着用してください。3.3 章をご覧ください。

3.10.2 追加の重要な安全上の注意事項



警告： 本章の指示を含め、電気製品に対する基本的な安全上の注意事項に従ってください。



注意：火災のリスクを減らすため、本 EVSE は米国電気工事規程の ANSI/NFPA 70 に準拠して、分岐回路の過電流を最大 40A まで保護できる回路にのみ接続してください。




- 本 EVSE を使用する前に、すべての指示をよくお読みください。
- お子様の周囲で本 EVSE を使用する場合は、大人が見守るようにしてください。
- EV のコネクタには指を挿入しないでください。
- フレキシブル電源コードや EV 充電ケーブルがもつれていたり、絶縁が失われていたり、その他の破損がみられる場合は、本製品を使用しないでください。
- エンクロージャまたは EV コネクタが破損していたり、ひび割れていたり、開かっていたり、その他の損傷の兆候がみられる場合は、本 EVSE を使用しないでください。
- EVSE に電力を供給する分岐回路の一環として、接地済みおよび未接地の分岐回路導体と寸法、絶縁素材、厚みが同一で、緑色と 1 本以上の黄色のストライプだけが異なる、絶縁接地導体を実装してください。
- 直前の項目で述べた接地コネクタを EVSE のアースに接続するか、独立したシステムから電源が供給される場合は電源変圧器へ接続します。
- AC 電源の入力配線設置については、11.11.4 章をご覧ください。
- AC 電源の端子ブロックのネジの締め付けトルク要件については、11.15 章をご覧ください。

以上の指示を将来の参照用に保管してください

4 設置

4.1 一般的な設置手順

使用前の準備

	<ul style="list-style-type: none"> • 現地規則に適合するために必要なすべての許可が得られていること。 • AC入力ケーブルが利用できること。 		<ul style="list-style-type: none"> • 設置手順の全体を通して、AC入力ケーブルが通電していないこと。
	<ul style="list-style-type: none"> • 設置用の工具。11.7章をご覧ください。 		

手順

1. EVSEを梱包材から取り出します。4.2章をご覧ください。
2. 設置個所を準備します。5章をご覧ください。
3. キャビネットのカバーを取り外します。9.1章をご覧ください。
4. 機構部を設置します。6.1章をご覧ください。
5. 電気回路を設置します。7.1章をご覧ください。
6. キャビネットのカバーを取り付けます。9.2章をご覧ください。
7. 試運転を行います。8.1章をご覧ください。

4.2 EVSEを梱包材から取り出す

1. 箱を開きます。
2. EVSEを箱から取り出します。
3. EVSEから梱包材をすべて取り除きます。
4. 梱包材を廃棄します。3.8章をご覧ください。
5. すべての部品が注文通りに届いていることを確かめてください。11.6章と手順をご覧ください。
6. EVSEと設置用部品が破損していないか検査します。
7. 破損が見つかったり部品が注文内容に合致しない場合は、最寄りの製造元代理店へお問い合わせください (ABB E-Mobility B.V.)。1.12章をご覧ください。


5 設置場所の準備

5.1 設置場所の選択

1. 壁面で適切な設置場所を見つけます。壁面の仕様は、11.8 章をご覧ください。
2. 適切な電源を確保します。電源の仕様については、11.11 章をご覧ください。
3. 設置空間の要求に従います。11.10.3 章をご覧ください。

5.3 設置場所の準備（UL 仕様と日本仕様）

使用前の準備

	<ul style="list-style-type: none">• 設置場所は EVSE の設置に適していなければなりません。5.2 章をご覧ください。
---	--

手順

1. EVSE 周辺に十分な空間とエアフローを確保します。11.10.3 章をご覧ください。
2. 正しいケーブルを現場に用意してください。
 - AC 入力ケーブル。11.13.2 章をご覧ください。
 - RS485 ケーブル。11.13.4 章をご覧ください。
 - イーサネットケーブル。11.13.3 章をご覧ください。

6 充電器本体の設置

6.1 一般的な充電器本体の設置手順





メモ：パッケージに付属する取付ネジとプラグは煉瓦の壁に使用できます。EVSE を別の種類の壁へ取り付ける場合は、最寄りの製造元代理店へお問い合わせください（ABB E-Mobility B.V.）。

1. 取り付けネジの穴を準備します。6.2 章をご覧ください。
2. 上の取り付けネジを設置します。6.3 章をご覧ください。
3. EVSE を指定箇所へ設置します。6.4 章をご覧ください。

6.2 取り付けネジの穴の準備

使用前の準備

 <ul style="list-style-type: none"> • 水準器 • ドリル 			<ul style="list-style-type: none"> • 設置テンプレート。11.6 章をご覧ください。 • 上の取り付け穴用プラグ。11.6 章をご覧ください。 • 下の取り付け穴用プラグ。11.6 章をご覧ください。
--	--	---	---

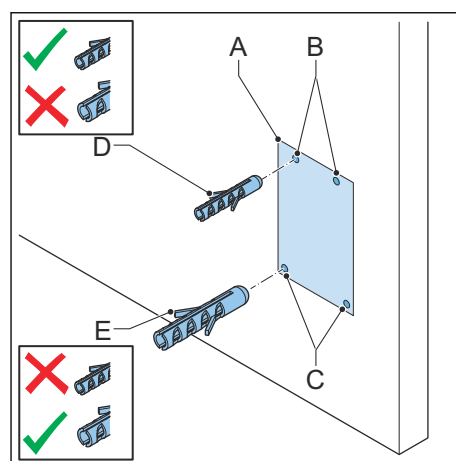
手順

1. 設置テンプレート (A) を壁に押し付けます。
2. 完全に水平に設置されるよう確かめます。水準器を使用します。
3. 取り付け穴 (B) と (C) の位置をマークします。
4. 上の取り付け穴 (B) と下の取り付け穴 (C) をドリルで空けます。



メモ：穴の直径は、上下の取り付け穴のプラグをご覧ください。

5. 上の取り付け穴 (D) へプラグを挿入します。
6. 下の取り付け穴 (E) へプラグを挿入します。



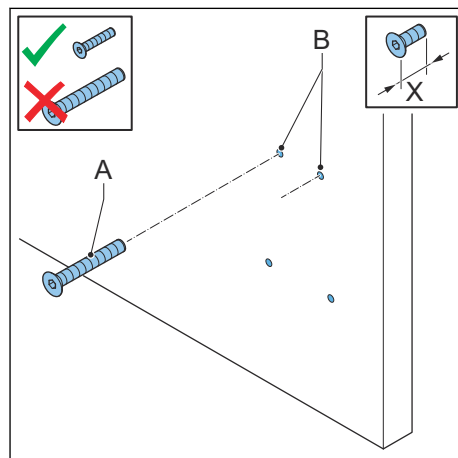
6.3 上の取り付けネジの設置

使用前の準備

 <ul style="list-style-type: none"> • 上下の取り付けネジのプラグが設置されていること。 			<ul style="list-style-type: none"> • 上の取り付けネジ。11.6 章をご覧ください。
--	--	---	---

手順

1. 上の取り付けネジ (A) を上の穴 (B) へ設置します。
2. 壁からネジが一定の長さ (X)、突き出るようにしてください。仕様については、11.8 章をご覧ください。
壁から突き出る長さは、EVSE を支えるために必要です。



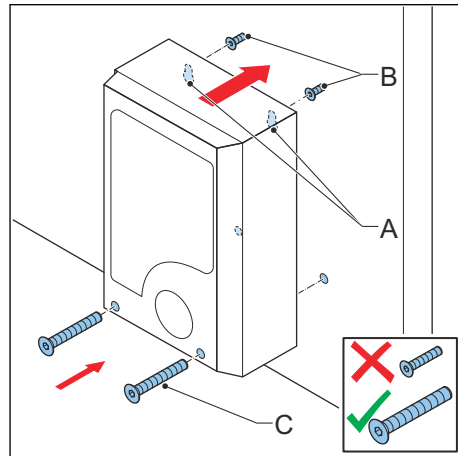
6.4 EVSE の壁面への設置

使用前の準備

<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 	<ul style="list-style-type: none"> • 上の取り付けネジが設置されていること。 		<ul style="list-style-type: none"> • 下の取り付けネジ。11.6 章をご覧ください。
---	---	--	---

手順

1. 開口部 (A) を上の取り付けネジ (B) にかぶせます。
上の取り付けネジは EVSE を支えます。
2. 下の取り付けネジ (C) を設置します。締め付けトルクの仕様については、11.15 章をご覧ください。



7 電気配線のインストール

7.1 一般的な電気回路の設置手順

使用前の準備

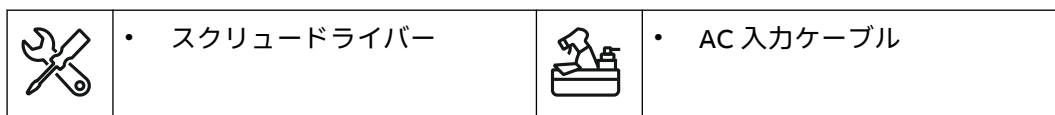


手順

1. メンテナンスのカバーを取り外します。9.3 章をご覧ください。
2. AC 入力ケーブルを設置します。
 - AC 入力ケーブルを挿入します。7.2 章をご覧ください。
 - AC 入力ケーブルを接続します。7.3 章をご覧ください。
3. イーサネットケーブルを設置します。
 - イーサネットケーブルを挿入します。7.4.1 章をご覧ください。
 - イーサネットケーブルを接続します。7.4.2 章をご覧ください。
4. 必要であれば、スマートメーターの通信ケーブルを設置します。
 - スマートメーターの通信ケーブルを挿入します。7.4.3 章をご覧ください。
 - スマートメーターの通信ケーブルを接続します。7.4.4 章をご覧ください。
5. インターネットへ接続する場合は、Nano-M2M SIM カードを挿入します。7.4.5 章をご覧ください。
6. 必要であれば、EV 充電ケーブルを交換します。7.5 章をご覧ください。
7. メンテナンスのカバーを設置します。9.4 章をご覧ください。

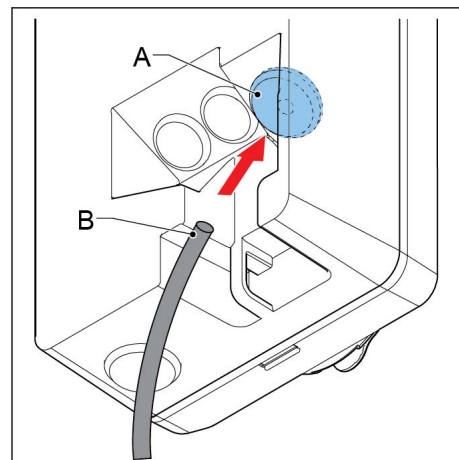
7.2 AC 入力ケーブルの挿入

使用前の準備



手順

1. EVSE からグロメット (A) を取り除きます。
2. グロメットの中央に穴を開けます。
※ 穴はグロメットの中央を指で押して空けてください。
3. グロメットを設置します。
4. 配線の被覆を取り除きます。仕様については、11.13 章をご覧ください。
5. 配線をグロメットに通します。
6. AC 入力ケーブル (B) を入口穴へ通します。
7. 配線とグロメットの間をコーキング材で塞いでください。



7.3 AC 入力ケーブルの接続

7.3.4 AC 入力ケーブルの接続（日本仕様）

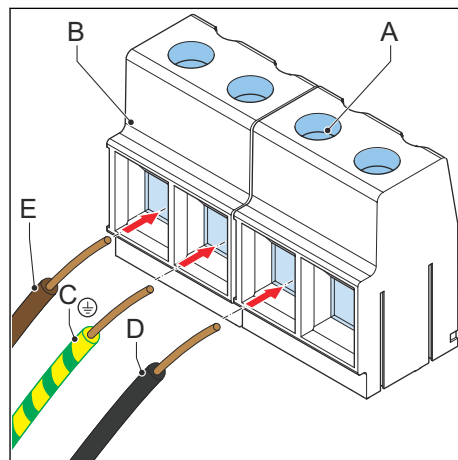
使用前の準備

	• トルクスクリュードライバー		• AC 入力ケーブル（単相）
---	-----------------	--	-----------------

手順

1. ネジ (A) を緩めます。
2. 配線の被覆を取り除きます。仕様については、11.13.2 章をご覧ください。
3. ケーブルコネクタを端子ブロック (B) へ挿入します。
4. 以下の配線を接続します。
 1. 接地線 (C)
 2. L2 AC 入力線 (D)
 3. L1 AC 入力線 (E)



11.11 章をご覧ください。
5. ネジ (A) を指定されたトルクまで締め付けます。仕様については、11.15 章をご覧ください。



7.3.5

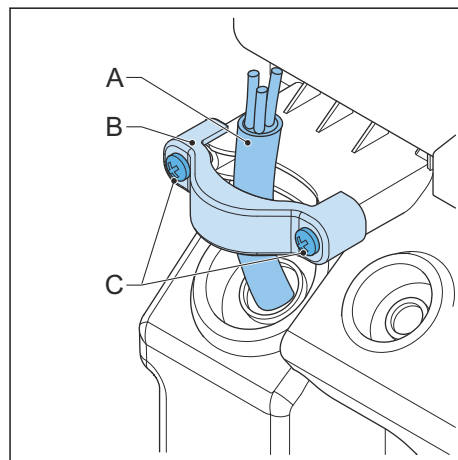
ケーブルの固定

使用前の準備

	<ul style="list-style-type: none"> • トルクスクリウドライバー 		<ul style="list-style-type: none"> • ケーブルのストレインリリーフ
--	--	--	--

手順

1. ケーブル (A) をストレインリリーフ (B) で固定します。
2. 2本のネジ (C) をストレインリリーフへ取り付けます。




7.4

通信接続

7.4.1

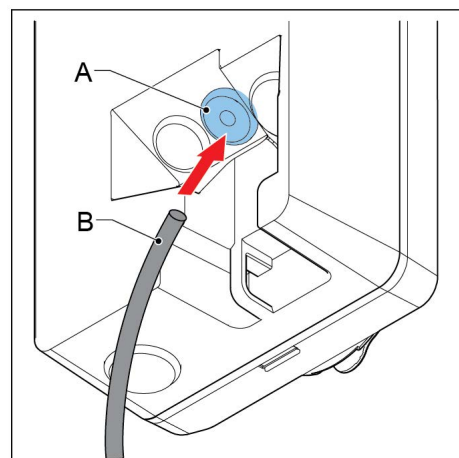
イーサネットケーブルの挿入

使用前の準備

	<ul style="list-style-type: none"> • キャビネットカバーが取り外されていること。9.1 章をご覧ください。 • メンテナンスカバーが取り外されていること。9.3 章をご覧ください。
---	--

手順




1. EVSE からグロメット (A) を取り除きます。
2. グロメットの中央に穴を開けます。
※ 穴はグロメットの中央を指で押して空けてください。
3. グロメットを設置します。
4. イーサネットケーブル (B) をケーブルの入力穴へ通します。
5. 配線とグロメットの間をコーキング材で塞いでください。



7.4.2

イーサネットケーブルの接続

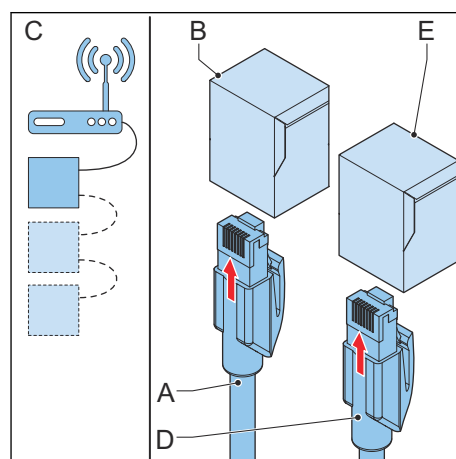
使用前の準備

<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> ≡ <input checked="" type="checkbox"/> ≡ <input type="checkbox"/> ≡ 	<ul style="list-style-type: none"> • イーサネットケーブルが挿入されていること。7.4.1 章をご覧ください。 •  		<ul style="list-style-type: none"> • 
--	---	--	--

EVSE にイーサネット接続が 2 つ存在する場合、複数の EVSE をチェーン接続することができます。最初の EVSE のみが PC、ルーター、ゲートウェイに接続されます。共有されるのはイーサネット接続のみです。EVSE 間では通信は行われません。

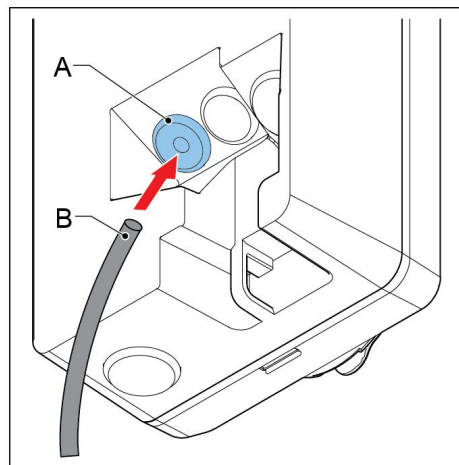
手順

1. イーサネットケーブルの RJ45 プラグ(A) をプライマリーイーサネットの RJ45 ソケット(B)へ接続します。
2. イーサネットケーブルを PC、ルーター、ゲートウェイ、前段の EVSE へチェーン (C) 接続します。
3. EVSE 同士をチェーン接続する場合、イーサネットケーブルの RJ45 プラグを後段の EVSE (D) で、セカンダリーイーサネットの RJ45 ソケット(E)へ接続します。









7.4.3 スマートメーターの通信ケーブルの挿入

1. EVSE からグロメット (A) を取り除きます。
2. グロメットの中央に穴を開けます。
※ 穴はグロメットの中央を指で押して空けてください。
3. グロメットを設置します。
4. 必要であれば、ケーブルの被膜を適切な長さになるまで取り除きます。11.13.4 章をご覧ください。
5. 配線をグロメットに通します。
6. ケーブル (B) を入力穴へ通します。
7. 配線とグロメットの間をコーキング材で塞いでください。



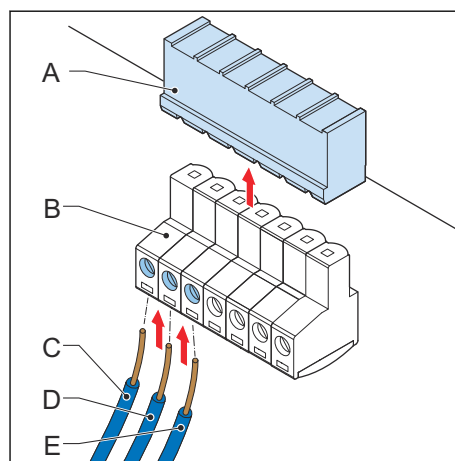
7.4.4 スマートメーターの通信ケーブルの接続

ModBus RTU (RS485)を備えたスマートメーターを EVSE へ接続します。
 使用前の準備

			<ul style="list-style-type: none"> • マイナスドライバー
			<ul style="list-style-type: none"> • ModBus RTU インターフェースを備えるスマートメーター • RS485 の配線。11.13.4 章をご覧ください。配線の絶縁定格については現地規則に従ってください。

手順

1. プラグ (A) をスマートメーター接続の端子ブロック (B) から取り外します。
2. 以下の配線を接続します。
 - a. 正極の配線 (C) を接続します。
 - b. 負極の配線 (D) を接続します。
 - c. スマートメーターがシールド線用のコモン絶縁アースを備えている場合は、線 (E) を接続します。
3. ネジを指定されたトルクまで締め付けます。仕様については、11.15 章をご覧ください。
4. 端子ブロックへプラグを取り付けます。



7.4.5 Nano-M2M SIM カードの挿入

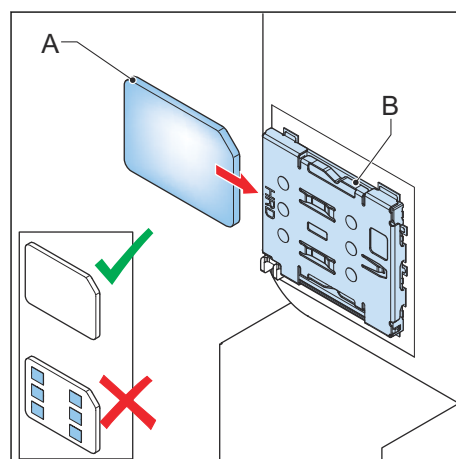
使用前の準備



- モバイルネットワーク業者から提供された Nano-M2M SIM カード。11.12 章をご覧ください。

手順

1. Nano-M2M SIM カード (A) をソケット (B) へ挿入します。接続ポイントの位置が正しいことを確認してください。




7.5 EV 充電ケーブルの交換

余白

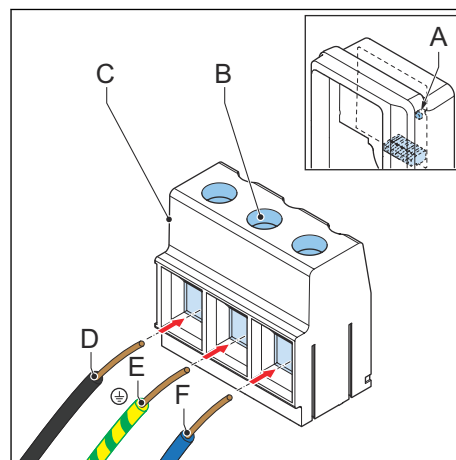
7.5.4 EV 充電ケーブルの交換（日本仕様）

使用前の準備

	<ul style="list-style-type: none"> EV 充電ケーブルが破損しています。 		<ul style="list-style-type: none"> トルクスクリュードライバー
	<ul style="list-style-type: none">  		<ul style="list-style-type: none"> EV 充電ケーブルは仕様を満たしていること。11.13.8 章をご覧ください。

手順

1. EV 充電ケーブル接続へアクセスします。
 - a. キャビネットカバーを取り外します。9.3 章をご覧ください。
 - b. 内部カバーを取り外します。9.5 章をご覧ください。
2. CP/PP コネクタが接続される、EV 充電器の 2 ピンコネクタ (A) を外します。
3. 端子ブロックの出力コネクタ (C) のネジを緩めます。
4. 配線を外します。
 - L2 (D)
 - 接地線 (E)
 - L1(F)




5. EV 充電ケーブルを取り外します。
6. 新しい EV 充電ケーブルを接続します。
 - a. 配線を接続します。
 - b. ネジ (B) を指定されたトルクまで締め付けます。仕様については、11.15 章をご覧ください。
 - c. CP/PP コネクタが接続される、EV 充電器の 2 ピンコネクタを接続します。
7. 動作を準備します。
 - a. 内部カバーを取り付けます。9.6 章をご覧ください。
 - b. キャビネットのカバーを取り付けます。9.4 章をご覧ください。

8 試運転

8.1 一般的な試運転手順

使用前の準備

	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォン
---	---



警告： 本試運転手順は、EVSE の国内使用と *TerraConfig* アプリを使用した試運転にのみ適用されます。その他のいかなる試運転方法も使用してはなりません。最寄りの製造元代理店へお問い合わせください。1.12 章をご覧ください。

手順

- TerraConfig* アプリをダウンロードします。
 - Android OS スマートフォンの場合は、Google Play Store で検索します。
 - iOS スマートフォンの場合は、Apple Store で検索します。
- EVSE を通電します。8.2 章をご覧ください。
- EVSE をセットアップします。8.3 章をご覧ください。

8.2 EVSE の通電

- EVSE へ電力を供給するブレーカーを入れます。



警告：

危険電圧

- 電気の取扱にはご注意ください。
 - 電源が供給されます。
 - 一連のセルフチェックが開始され、EVSE が正しく安全に動作するか確認します。
 - EVSE が問題を検出すると、エラー LED が点灯します。
- 充電ケーブルをEVに接続します。
 - EVが充電できることをご確認ください。

8.3 EVSE のセットアップ

使用前の準備

	<ul style="list-style-type: none"> <i>TerraConfig</i> アプリをインストールしたスマートフォン 		<ul style="list-style-type: none"> PIN コードが記載されたラベル。11.6 章をご覧ください。
---	--	---	---

手順

1. TerraConfig アプリを開きます。

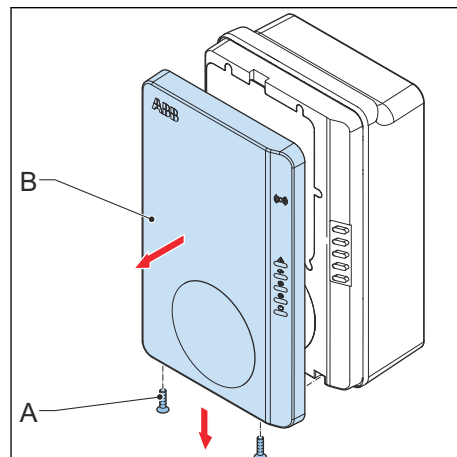
※ TerraConfigアプリの使用方法は12.1 TerraConfigアプリユーザーマニュアルをご参照ください。

9 各部へのアクセス

9.1 キャビネットカバーの取り外し

1. 以下の部品を取り外します。

- ネジ(A)
- キャビネットカバー (B)



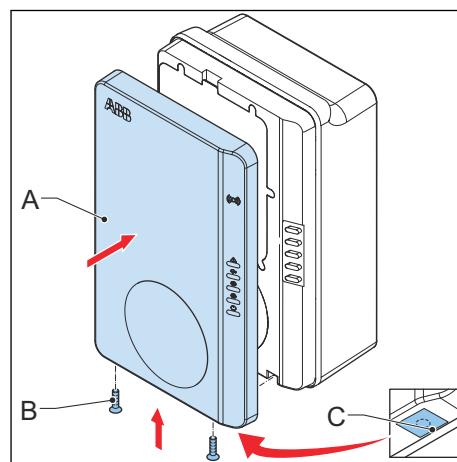
9.2 キャビネットカバーの取り付け

使用前の準備

<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> • メンテナンスカバーが設置されていること。 		<ul style="list-style-type: none"> • 改ざん防止ラベル
---	--	--	--

手順

- 以下の部品を設置します。
 - キャビネットカバー (A)
 - ネジ (B)
- キャビネットカバーをキャビネットへ固定します。改ざん防止ラベル (C) を使用します。¹



¹ この手順は MID 認定を受けた EVSE でのみ必要となります。

9.3 メンテナンスカバーの取り外し

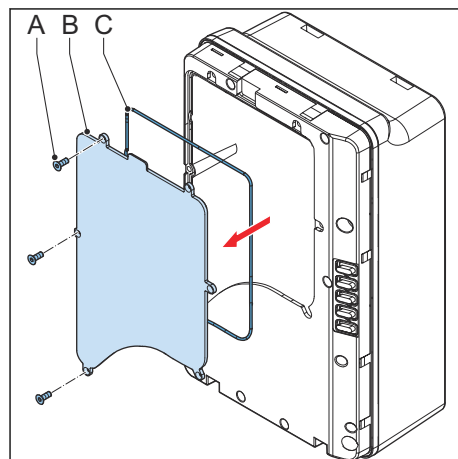
9.3.1 メンテナンスカバーの取り外し（ディスプレイのない EVSE）

使用前の準備

<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	• キャビネットカバーが取り外されていること。
--	-------------------------

手順

- 以下の部品を取り外します。
 - ネジ(A)
 - メンテナンスカバー (B)
 - ゴムシール (C)
- ゴムシールを清掃します。
- ゴムシールが破損している場合、以下の手順を実行します。
 - ゴムシールを破棄します。3.8 章をご覧ください。
 - 最寄りの製造元代理店で新しいゴムシールを注文します。



9.4 メンテナンスカバーの設置

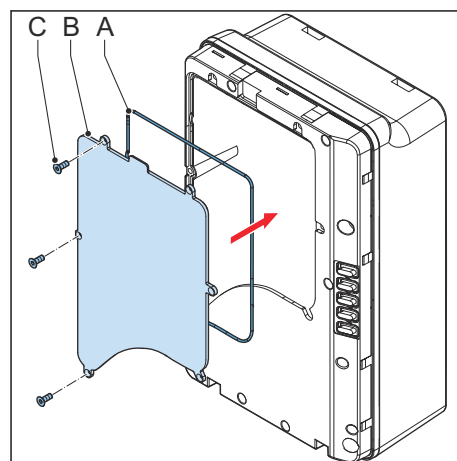
9.4.1 メンテナンスカバーの設置 (ディスプレイのない EVSE)

使用前の準備

<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	・ 内部カバーが設置されていること。
--	--------------------

手順

- 以下の部品を設置します。
 - ・ ゴムシール(A)
 - ・ メンテナンスカバー (B)
 - ・ ネジ (C)



² この手順は MID 認定を受けた EVSE でのみ必要となります。

9.5 内部カバーの取り外し

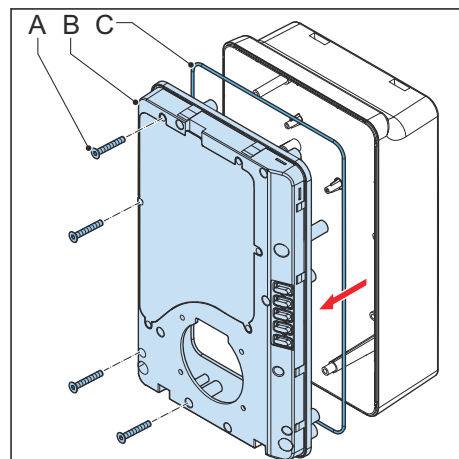
9.5.1 内部カバーの取り外し（ディスプレイのない EVSE）

使用前の準備

<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none">キャビネットカバーが取り外されていること。
--	---

手順

- 以下の部品を取り外します。
 - ネジ(A)
 - 内部カバー(B)
 - ゴムシール (C)
- ゴムシールを清掃します。
- ゴムシールが破損している場合、以下の手順を実行します。
 - ゴムシールを破棄します。3.8 章をご覧ください。
 - 最寄りの製造元代理店で新しいゴムシールを注文します。

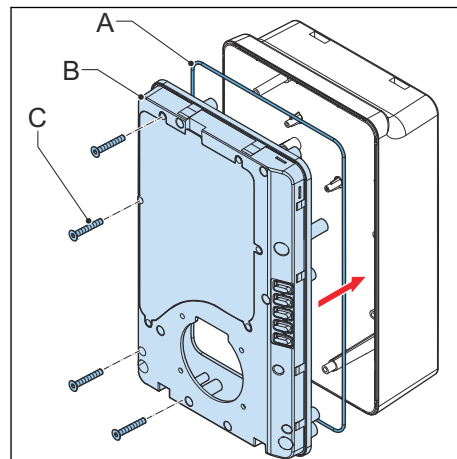


9.6 内部カバーの設置

9.6.1 内部カバーの設置 (ディスプレイのない EVSE)

1. 以下の部品を設置します。

- ゴムシール(A)
- 内部カバー(B)
- ネジ (C)



³ この手順は MID 認定を受けた EVSE でのみ必要となります。

10 トラブルシューティング

10.1 トラブルシューティング手順

1. 本書に記載された情報を元に、問題の解決法を探ってください。
2. 問題の解決法が見つからない場合は、製造元の最寄りの代理店へお問い合わせください。1.12 章をご覧ください。

余白

余白

10.3 トラブルシューティング表 (UL 仕様と日本仕様)

問題 (エラーコード)	原因の可能性	解決案
漏電が検出されました (0x0002)	充電回路に漏電 (20mA AC) が存在します。電流がアースへ漏れています。	<ol style="list-style-type: none"> EVSE の通電を遮断してください。10.4 章をご覧ください。 最寄りの製造元代理店または資格を有する電気業者へお問い合わせください。1.12 章をご覧ください。
保護接地 (PE) が存在しないか、ニュートラルと相線が入れ替わっています (0x0004)	<p>EVSE は正しく接地されていません。</p> <p>ニュートラル線と相線が入れ替わっています。</p>	<ol style="list-style-type: none"> AC 入力のコネクタの保護アース線を検査してください。 保護接地導体を取り付けます。 <ol style="list-style-type: none"> 電気接続を確認してください。 ニュートラル線とラインと相線の接続が正しいことを確かめてください。 必要であれば、電気接続を変更してください。7 章をご覧ください。
過電圧 (0x0008)	電源入力の最大電圧が高すぎます。	電力系統から供給される電圧が指定を超えないようにしてください。
電圧不足 (0x0010)	電源入力の電圧が不足しています。	電力系統から供給される電圧が指定に達するようにしてください。

問題 (エラーコード)	原因の可能性	解決案
過電流 (0x0020)	EV 側が過負荷に陥っています。	<ol style="list-style-type: none"> EV 充電ケーブルを検査してください。 EV 充電ケーブルを正しく接続してください。
深刻な過電流 (0x0040)	EV 側が過負荷に陥っています。	<ol style="list-style-type: none"> EV 充電ケーブルを検査してください。 EV 充電ケーブルを正しく接続してください。
温度超過 (0x0080)	内部温度が高すぎます。	<ol style="list-style-type: none"> 製品のラベルに記載された動作温度を確認してください。周囲温度が高すぎる場合、EVSE は自動的に出力電流を下げます。 必要であれば、EVSE を周囲温度が低い環境に設置してください。 電力系統から供給される電圧が指定を超えないようにしてください。 問題を解決できない場合は、EVSE を使用しないでください。最寄りの製造元代理店または資格を有する電気業者へお問い合わせください。1.12 章をご覧ください。
電源リレーの故障 (0x0400)	リレーの接点が破損しているか、状態が誤っています。	<ol style="list-style-type: none"> リレーの接点を検査してください。 必要であれば、電流を調整してください。 必要であれば、リレーの接点を交換してください。
内部通信の故障 (0x0800)	EVSE の回路基板が互いに通信できていません。	<ol style="list-style-type: none"> 回路基板が確認パケットを受信します (250 ミリ秒)。P と C が正常に接続されていることを確かめてください。 回路基板が確認パケットを受信します (1 秒)。B と C が正常に接続されていることを確かめてください。
E ロックの故障 (0x1000)	充電コネクタをロック/ロック解除できません。	<ol style="list-style-type: none"> EV 充電ケーブルの接続を検査してください。 必要であれば、EV 充電ケーブルを接続してください。

問題 (エラーコード)	原因の可能性	解決案
相の欠如 (0x2000)	B 相と C 相が欠如しているか、相のいずれかが欠如しています。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電気接続を確認してください。 2. ニュートラル線とラインと相線の接続が正しいことを確かめてください。 3. 必要であれば、電気接続を変更してください。7 章をご覧ください。
Modbus の通信喪失 (0x4000)	Modbus 通信が失われています。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 配線と極性の接続を検査してください。 2. 重複したアドレスが存在しないことを確かめてください。 3. ボーレートが他方のデバイスまたはメーターに一致することを確かめてください。 4. 他方のデバイスまたはメーターのパリティ値が EVSE の「なし」に合致することを確かめてください。 5. ストップビットとデータビットが他方のデバイスまたはメーターに一致することを確かめてください。
EV が充電セッションの準備ができていないとディスプレイに表示されるか、ChargerSync アプリが <i>waiting for EV</i> (EV の準備完了を待機中) と表示しています。	EV は使用できません。	EV をウェイクアップしてください。ユーザーマニュアルをご覧ください。
EV が充電されていません	EVSE に問題があります。	<ol style="list-style-type: none"> 1. EVSE の電源がオンになっているか確認してください。 2. EVSE が正常に動作しているか検査してください。 3. ChargerSync アプリと充電 LED を検査して、充電セッションが許可されていることを確かめてください。 4. 充電セッションを開始してください。
	EV 充電ケーブルが破損しています。	<ol style="list-style-type: none"> 1. EV 充電ケーブルを検査してください。 2. 付属の標準 EV 充電ケーブルが破損している場合は、EV 充電ケーブルを交換してください。7.5 章をご覧ください。

問題 (エラーコード)	原因の可能性	解決案
EV 接続または認証プロセスに失敗しました。	EV 充電ケーブルが破損しています。	<ol style="list-style-type: none"> EV 充電ケーブルを検査してください。 付属の標準 EV 充電ケーブルが破損している場合は、EV 充電ケーブルを交換してください。 7.5 章をご覧ください。
	EV 充電ケーブルが正しく接続されていません。	<ol style="list-style-type: none"> EV 充電ケーブルの接続を確認してください。 必要であれば、EV 充電ケーブルを接続してください。
	<i>ChargerSync</i> アプリまたは RFID カードに問題があります。	<ol style="list-style-type: none"> ユーザーが <i>ChargerSync</i> アプリに登録されていることを確かめてください。 製造元が提供する RFID カードを使用していることを確かめてください。 RFID カードが <i>ChargerSync</i> アプリに追加されていることを確かめてください。 <i>ChargerSync</i> アプリを起動してください。 認証プロセスを開始してください。

10.4 EVSE の通電を遮断してください

- EVSE へ電力を供給するブレーカーを開いてください。
- 少なくとも 1 分間、待ってください。

11 技術仕様

11.1 EVSE のタイプ

EVSE のタイプはコードで表現されます。
コードは A1 - A10 の 10 の部分で構成されます。

コードの部分	説明	値	値の意味
A1	ブランド名	Terra AC	-
A2	タイプ	W	壁掛けボックス
		C	カラム
A3	出力電力	4	3.7 kW
		6	6 kW
		7	7.4 kW
		8	8 kW
		9	9 kW
		11	11 kW
		19	19 kW
A4	ケーブルの種類またはソケット	P	タイプ 1 ケーブル
		G	タイプ 2 ケーブル
		T	タイプ 2 ソケット
		S	シャッター付きタイプ 2 ソケット
A5	ケーブル長	-	ケーブルなし
		5	5 m
		8	8 m
A6	認証	R	RFID 対応
		-	RFID なし
A7	ディスプレイ	D	あり
		-	なし
A8	メータリング	M	MID 認定済 (ディスプレイ付きのみ)
		P	MID と Eichrecht 認定済 (ディスプレイ付きのみ)
		-	MID 未認定
A9	SIM スロット	C	あり
		-	なし
A10	イーサネット	-	シングル
		D	ダイジーチェーン
A11	-	JPN	日本

例

Terra AC W7-P8-RD-MCD-0

- A1 = ブランド名 = Terra AC
- A2 = タイプ = 壁掛けボックス
- A3 = 7、出力電力 = 7.4 kW
- A4 = ケーブルタイプ、ケーブル = タイプ 1
- A5 = 8 m
- A6 = 認証 = RFID 対応
- A7 = ディスプレイ = あり
- A8 = メータリング = MID 認定済
- A9 = SIM スロット = 対応
- A10 = イーサネット = デイジーチェーン
- 「0」は空欄です。

11.2

一般仕様

パラメーター	仕様
安全規格	<ul style="list-style-type: none"> • IEC/EN 61851-1、IEC/EN 62311、IEC/EN 62479、IEC/EN 62955 • UL 2594、UL 2231-1、UL 2231-2、UL 1998 • NMX-J-667-ANCE • CSA C22.2.NO.280 • JARI A 0101
認証	<ul style="list-style-type: none"> • 単相
IP または NEMA	製品のラベルに仕様が記載されています。2.3 章をご覧ください。
IEC 62262 に基づく IK 定格 (エンクロージャとディスプレイ)	IK10 -35 °C ~ -30 °C の動作温度で IK8+
コードと規格	IEC 61851-21-2、EN 61000-6-1、EN 61000-6-2、EN 61000-6-3、EN 61000-6-4、EN 61000-3-2、EN 61000-3-3、EN 61000-3-11、EN 61000-3-12 CE RED- WLAN / RFID / E-UTRA: EN 300 328 V2.1.1、EN 300 330 V2.1.1、EN 301 908-1 V1.1.2、EN 301 908-13、EN 50470-1、EN 50470-3 FCC Part 15 Class B、JARI A 0001、JARI A 0101、JARI A 0201、JARI A 0301、JARI A 0401

パラメーター	仕様
	FCC Part 15 Class B エナジースター JATE TELEC
消費電力	スタンバイモード :
	<ul style="list-style-type: none"> • 日本モデル • 日本モデル、ディスプレイ付き
	<ul style="list-style-type: none"> • 3.6 W • 4.6 W

11.3

周囲環境

パラメーター	仕様
動作温度	-35°C ⁴ 最大+50°C
MID 認定モデルの動作温度	-30°C ~ +55°C
保管温度	-40°C ~ +80°C
保管条件	屋内、乾燥
相対湿度	<95%、結露無し

11.4



重量

EVSE のタイプ	重量 [kg]
Terra AC 壁掛けボックス、タイプ1 (日本仕様)	6.3

⁴ 製造元の試験結果に基づく

11.5 保護機器の準拠

11.5.1 保護機器の準拠 (IEC 仕様と日本仕様)

要件	仕様
専用の上流保護機器	オプション : <ul style="list-style-type: none"> • RCD(タイプ A 以上) + MCB • RCBO (タイプ A 以上)、(例 : ABB モデル製品番号 : DS201 C40 A30)
上流の過電流保護ブレーカー (例 : RCBO または MCB)。  メモ : ブレーカー値はケーブルの径と長さ、EVSE 定格、環境パラメーター (電気技術者が判定) に依存します。 ブレーカーは EVSE への主な電源遮断装置として機能します。	ブレーカー定格 : <ul style="list-style-type: none"> • 32 A 定格の EVSE で 40 A • 16 A 定格の EVSE で 20 A トリップ特性 : タイプ C
上流の漏電遮断器	少なくともタイプ A、高速型、最大 30 mA の漏電定格 PSE 準拠品 (日本仕様)  メモ : EVSE は > 6 mA の DC 電流異常監視機能を内蔵

11.6 納品時に含まれる部品

パラメーター	仕様
EVSE	製品ラベルをご覧ください。2.3 章をご覧ください。
上の取り付けネジ	M6 x 60
上の取り付けネジのプラグ（煉瓦製の壁で使用可能）	8 x 60 mm
下の取り付けネジ	M6 x 120
下の取り付けネジのプラグ（煉瓦製の壁で使用可能）	10 x 60 mm
設置テンプレート	-
RFID カード	MIFARE
PIN コードが記載されたラベル	<i>TerraConfig</i> アプリへのログイン用。

11.7 設置に必要な工具

パラメーター	仕様
ハンマー	-
水準器	-
ドリル	-
トルクスクリュードライバー（プラス）	-
トルクスクリュードライバー（マイナス）	5 mm ピッチの端子ブロックとプラグ用

11.8 壁面の要件

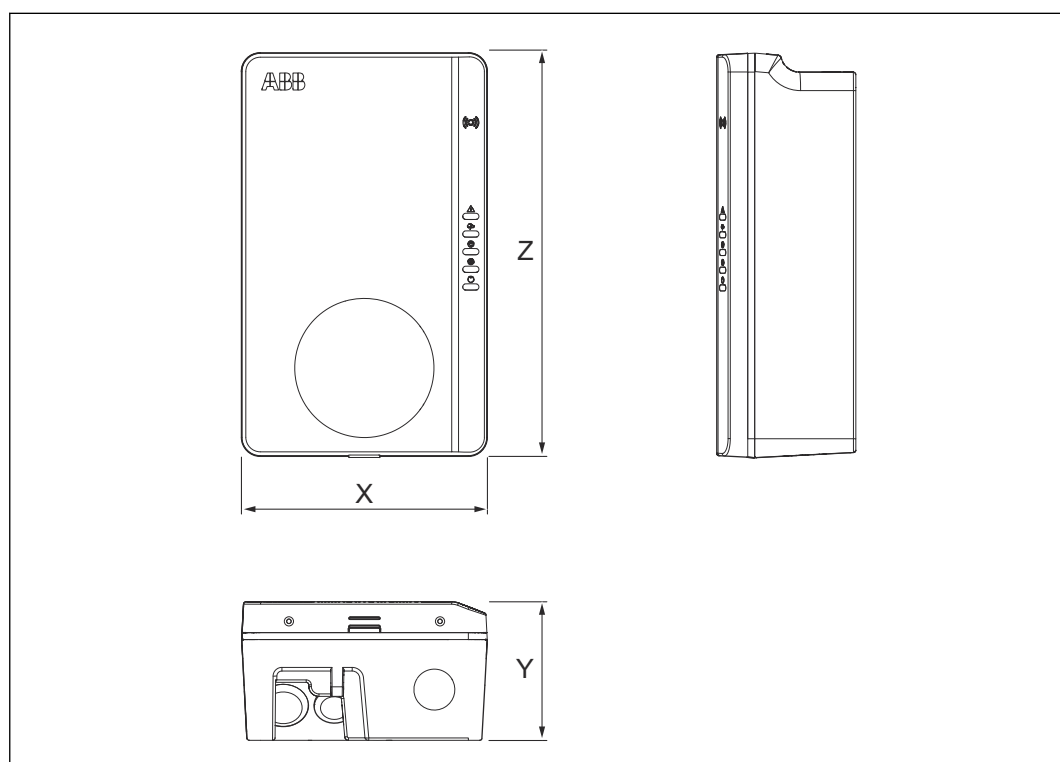
パラメーター	仕様
壁の厚み	最低 89 mm (3.5 インチ)
壁の強度	以下の項目に耐えられる強度が必要です。 1. EVSE の重量。11.2 章をご覧ください。 2. 下の取り付けネジの締め付けトルク。 11.15 章をご覧ください。
壁の素材	取付面は平坦で安定している必要があります (仕上げ済、煉瓦、コンクリートなど)。
上のネジが壁面から突き出る長さ	6 mm (0.24 インチ)

11.9 ノイズレベル

パラメーター	仕様
ノイズレベル	35 dB (A)未満

11.10 寸法

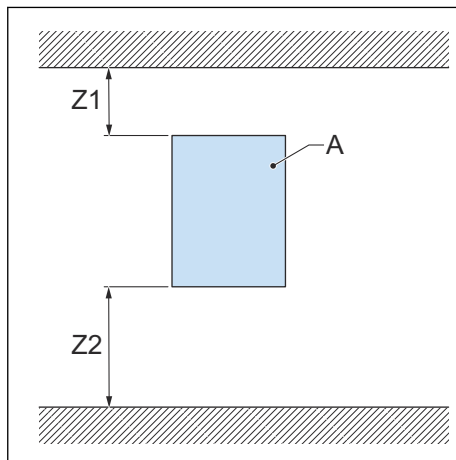
11.10.2 EV 充電ケーブル付き



X EVSE の幅
 Y EVSE の奥行き
 Z EVSE の高さ

パラメーター	仕様 [mm]
X	195
Y	110
Z	320

11.10.3 設置に必要な空間要件



A EVSE

パラメーター	仕様
	[mm]
Z1	> 200
Z2 (屋内使用)	450 ~ 1200
Z2 (屋外使用)	600 ~ 1200

11.11 AC 入力電源仕様

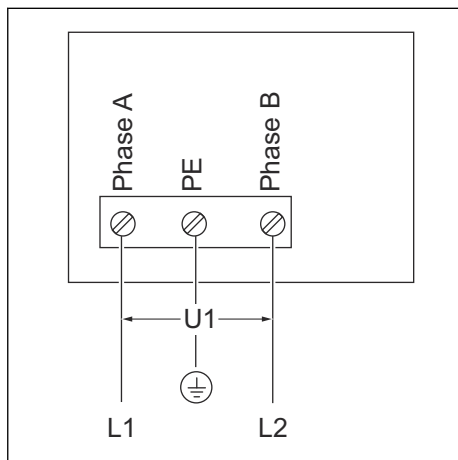
11.11.1 一般仕様

パラメーター	仕様
接地システム	IT
	TT
	TN-S
	TN-C-S
周波数	50 Hz または 60 Hz
過電圧カテゴリー	カテゴリー III
保護	過電流
	過電圧
	電圧不足
	接地不良 (DC 漏電保護を含む) ⁵
	内蔵サージ保護

⁵ IEC 仕様の EVSE のみ

余白

11.11.5 200 VAC (日本仕様)



U1 200 VAC、最大 240 VAC

11.11.8 AC 入力仕様 (日本仕様)

パラメーター	仕様
入力 AC 電源接続	200 V AC
スタンバイ消費電力	3.6 W
アース (接地) 不良保護	内蔵 20 mA AC CCID

11.12 標準論理インターフェース仕様

パラメーター	仕様
接続機能	Nano-SIM ソケットの M2M (マシン間) モバイル通信 4G (LTE)
スマートメーターの通信	Modbus RTU(RS485)
ローカルコントローラー通信	Modbus TCP/IP (セカンダリ)
イーサネット	1x 10/100 BaseT、1 x 100 BaseT JPN、RJ45 ソケット
追加イーサネット (デイジーチェーン)	1x 10/100 BaseT、1 x 100 BaseT JPN、RJ45 ソケット
WiFi (WAN)	IEEE 802.11 b/g/n、2.4 GHz
Bluetooth	BLE 5.0
RFID	ISO/IEC 14443A、MIFARE™ Classic、1K と 4K メモリー
スマートフォンの対応 OS	<ul style="list-style-type: none"> Android 4.4 またはそれ以降 iOS8 またはそれ以降

11.13 ケーブル仕様

11.13.2 AC 入力ケーブル (UL 仕様と日本仕様)

パラメーター	仕様
EV 充電ステーションの接続タイプ	端子ブロックとネジ
端子ブロックの配線サイズ (許容値)	6 ~ 12 AWG
端子ブロックの配線サイズ (32A EV 充電ステーションに推奨)	最小 8 AWG
端子ブロックの配線サイズ (16A EV 充電ステーションに推奨)	最小 12 AWG
被覆除去長さ	10 mm
ケーブルのシールド (オプション)	現地規制でシールドケーブルが要求される場合。ケーブルのシールドはケーブルの両端で PE レールへ接続する必要があります。
相導体の直径	現地規則をご覧ください。
PE 導体の直径	相導体の直径と同じです。
<ul style="list-style-type: none"> 正しい配線サイズについては、周囲環境、導体の種類、EVSE 定格に基づき、現地の電気規則を参照してください。 配線の AWG は銅配線に基づきます。 	

11.13.3 イーサネットケーブルの仕様

パラメーター	仕様
EVSE コネクタのタイプ	RJ45 モジュージャック
ケーブルの種類	カテゴリー 5 (Cat 5)

11.13.4 RS485 ケーブルの仕様

RS485 ケーブルの仕様はスマートメーターの ModBus RTU 通信に適用されます。

パラメーター	仕様
EV 充電ステーションのコネクタ種類	端子ブロックのプラグとネジ
導体種類	ツイストペア、シールドケーブル (推奨)
端子ブロックプラグの導体サイズ (許容値)	IEC 仕様 : 断面積 : 2.5 mm ² ~ 0.5 mm ² UL 仕様 : 12 ~ 30 AWG
端子ブロックプラグの導体サイズ (推奨)	最小 24 AWG (0.5 mm ²)
被覆除去長さ	5 mm
端子接続	485A : RS485 正極/A/D0 485B : RS485 負極/B/D1 シールド線のコモン絶縁アース
ModBus RTU のボーレート	9600 bps 標準、 <i>TerraConfig</i> アプリで 4800/9600/19200/38400/57600/11520 0 bps へ設定可能
ModBus RTU バス プライマリ/セカンダリ	EVSE は <i>TerraConfig</i> アプリで ModBus の プライマリ/セカンダリへ設定できます

- スマートメーターでの正しい配線サイズについては、現地の電気規則と配線要件を参照してください。
- 配線の AWG と断面積は銅配線に基づきます。

11.13.5 乾式接点入力

乾式接点入力はユーザーが提供するシングル接点です。

パラメーター	仕様
EVSE コネクタのタイプ	端子ブロックのプラグとネジ
端子ブロックプラグの配線サイズ (最大許容値)	<ul style="list-style-type: none"> • 2.5 ~ 0.5 mm² (IEC 仕様) • 12 ~ 30 AWG (UL 仕様)
端子ブロックプラグの配線サイズ (推奨)	24 AWG (0.5 mm ²) 最小
必要な締め付けトルク	0.5 Nm
被覆除去長さ	5 mm
端子接続	<ul style="list-style-type: none"> • PE/シールド : 接点入力端子 1 または 2 • 設定入力 : 接点入力端子 2 または 1

配線の AWG と断面積は銅配線に基づきます

11.13.6 乾式接点の出力

乾式接点入力は EVSE 内のシングル接点です。

パラメーター	仕様
EVSE コネクタのタイプ	端子ブロックのプラグとネジ
端子ブロックプラグの配線サイズ (最大許容値)	<ul style="list-style-type: none"> 2.5 ~ 0.5 mm² (IEC 仕様) 12 ~ 30 AWG (UL 仕様)
端子ブロックプラグの配線サイズ (推奨)	20 AWG (0.75 mm ²) 最小
必要な締め付けトルク	0.5 Nm
被覆除去長さ	5 mm
端子接続	<ul style="list-style-type: none"> 設定出力の乾式接点 1 : 接点出力端子 1 設定出力の乾式接点 2 : 接点出力端子 2
接点の定格負荷	125 VAC/30VDC @3A

配線の AWG と断面積は銅配線に基づきます。

11.13.8 EV 充電ケーブル仕様 (仕様 UL 仕様と日本仕様)

パラメーター	仕様 [m]
長さ	7.6

11.14 AC 出力仕様

11.14.3 AC 出力仕様 (日本仕様)

パラメーター	仕様
AC 出力電圧範囲	200 V AC (単相)
接続規格	SAE J1772 に基づくタイプ 1 ケーブル

11.15

締め付けトルク仕様

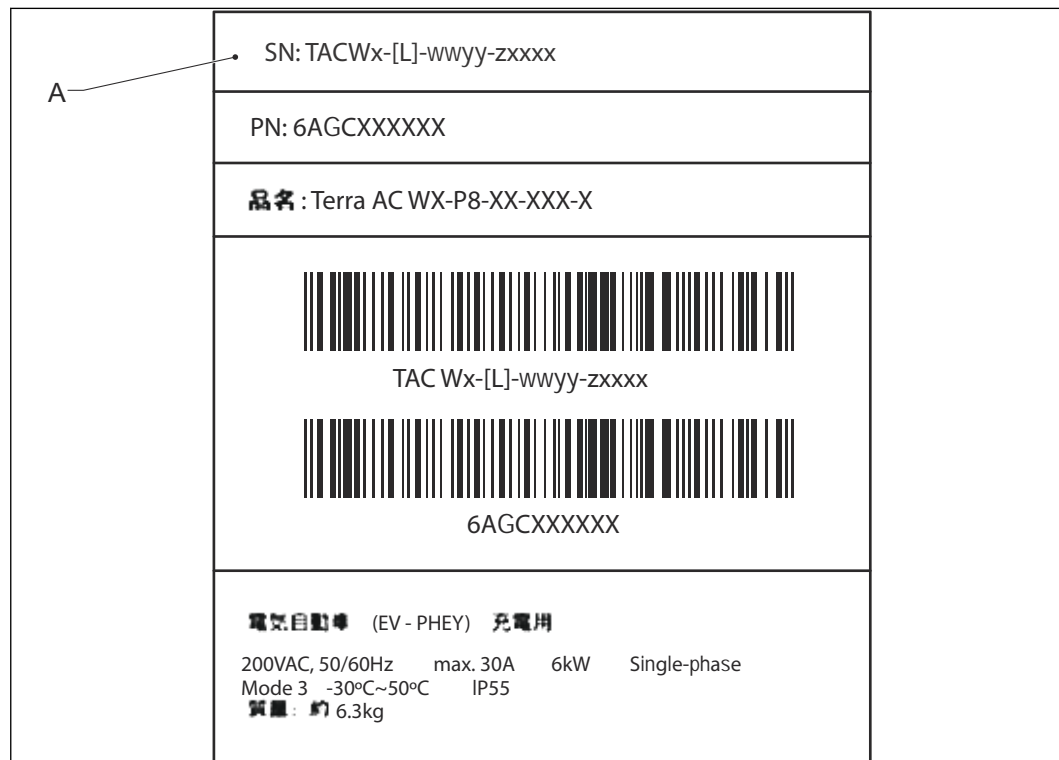
トルクは厳守してください。
過剰な締め付けによる故障は保証対象外です。

パラメーター (場所は下図参照)	仕様 [Nm]
AC入力の端子ブロック (B)	下記方法 (※) にて確認
スマートメーター接続端子ブロック (C)	0.5
乾式入力/出力接点の端子ブロック (D)	0.5
充電ケーブルの端子ブロック (E)	1.2
下部の充電器取付ねじ (F)	4.4

※ AC入力の端子ブロックのトルク確認方法

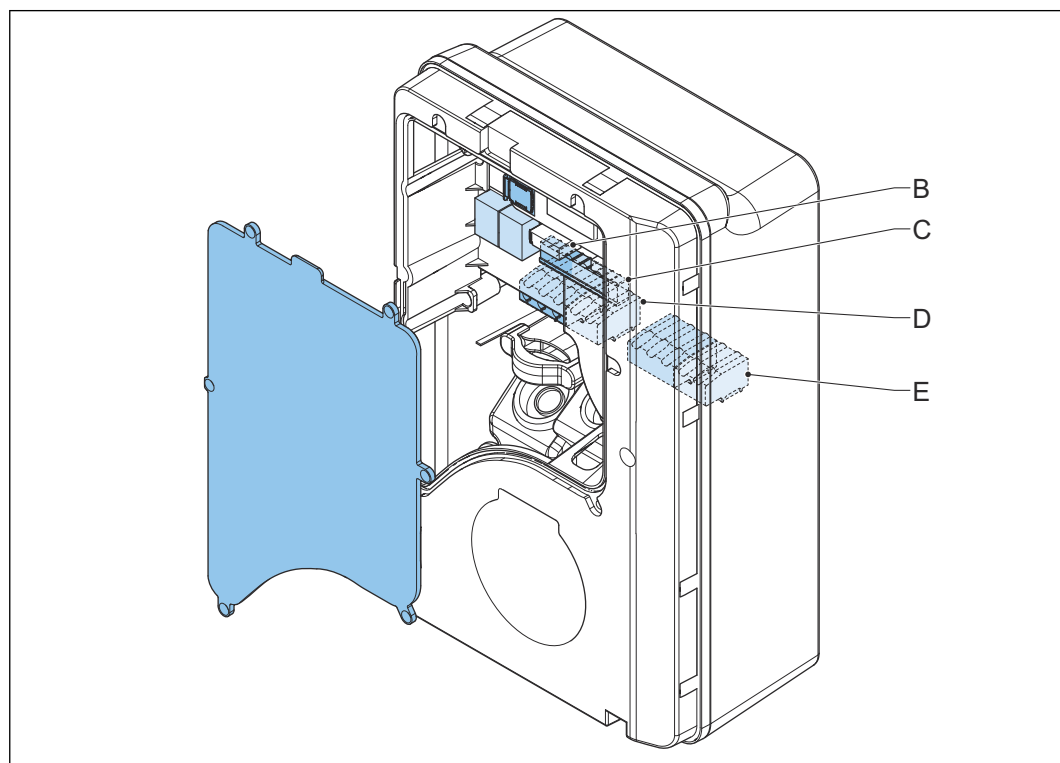
1. シリアルナンバー (TACW6-4-**wwyy**-Pxxxx) を確認、**wwyy**の数字を確認。
 ※ シリアルナンバーは本体右側面の銘板に記載がございます (下図 A)。
2. **yy**が25以上の場合 → 2.2 Nm
3. **yy**が24であり、かつ**ww**が26以上の場合 → 2.2Nm
4. **yy**が24であり、かつ**ww**が25以下の場合 → 1.2Nm
5. **yy**が23以下の場合 → 1.2Nm

銘板、シリアルナンバー記載箇所

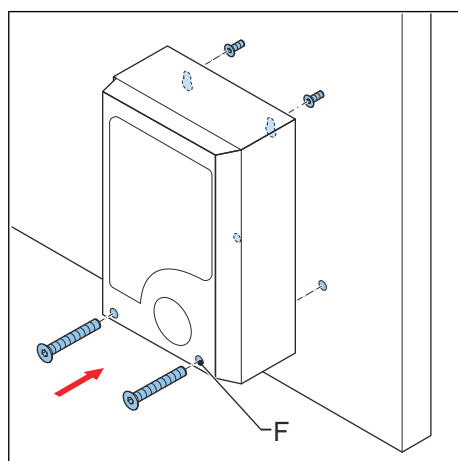


A シリアルナンバー

充電器内部、各端子ブロック位置



- B AC 入力の端子ブロック
- C スマートメーター接続端子ブロック
- D 乾式入力/出力接点の端子ブロック
- E 充電ケーブルの端子ブロック



- F 下部の充電器取付ねじ

12 補遺

12.1 TerraConfigアプリユーザーマニュアル

次ページ以降参照



—
TerraConfig スマートフォンアプリ
取扱説明書 v1.1

ABB

著作権

著作権、登録商標、商標の権利はすべて、それぞれの所有主に帰属します。

Copyright © ABB E-Mobility B.V. 無断複製・転載を禁じます。

図

本取扱説明書内の図は、必ずしもお客様がご覧になるものと一致しません。本取扱説明書内の図は標準的な表示を示しております。図は指示と説明のみを目的としております。

一般的な安全指示

本取扱説明書、関連文書、記載された警告は、EV充電器を操作する場合に良識に基づいて操作する責任を免除するものではありません。

現地の規制と本書の指示に従ってください。現地の規制が本書の指示と矛盾する場合は、現地の規制が優先されます。

本書の要件や手順と現地の規制が一致しないか矛盾する場合、法律で許可されている範囲で、本書の要件と現地の規制を比較して、より厳しい要件に従ってください。

本書について

TerraConfigはスマートフォンでご利用可能なTerra AC Wallbox専用のアプリです。
本アプリをご使用にならなくても、Terra AC Wallboxを用いた電気自動車の充電は可能です。
本アプリを使用することで、Terra AC Wallboxの設定が可能となります。
下記は可能となる機能のいくつかの例です。

- ・ インターネットへの接続により、より遠隔から充電器の操作をする。
- ・ OCPPサーバー接続先の設定により、遠隔から充電器の操作をする。
- ・ RFIDカードの登録により、充電器利用者の制限や使用状況の管理をする。
- ・ 充電器のファームウェアのアップデートにより、機能の追加などをする。

本取扱説明書では、上記の機能を利用するためのスマートフォン内の手順を説明したものです。

ダウンロード/アカウントを作成/ログイン

概要

アプリのダウンロードからログインまでの手順です。

手順

1. iOSの場合はApp Store、Androidの場合はPlay Storeで、「TerraConfig」と検索。
2. TerraConfig (図2) をダウンロード。
※ TerraConfig(legacy) (図3) は旧バージョンのアプリです。お間違いのないようにお気をつけください。
3. ダウンロードされたアプリを開いてください。
※ アカウントを既にお持ちの方は8にお進みください。
4. 画面下の「登録」(図4) を選択。
5. 「アカウントを作成」の画面(図5)で、新規登録する「ユーザー名」、「メールアドレス」、「パスワード」を入力。
※ パスワードは確認のため、2回入力してください。
6. 利用規約及びプライバシーポリシーをご確認いただき、同意される場合は口にチェックを入れる。
7. 「登録」を選択。
8. 登録したメールアドレスに届くアカウント登録のメールを確認。
9. 「ログイン」の画面(図4)で、「メール」と「パスワード」を記入。
※ パスワードを忘れた場合は、「パスワードをお忘れですか?」を選択してください。
10. 「ログイン」を選択。

図1



iOS (iPhone)



Android

図2



TerraConfig
ABB ChargeDot

図3



TerraConfig(legacy)
ABB ChargeDot

図4



「パスワードをお忘れですか?」
(パスワードを忘れた場合)

「登録」
(新規アカウント作成の画面へ)

図5



「登録」

充電器に接続

概要

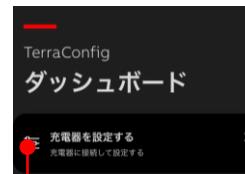
この設定は必須です。

スマートフォンから充電器に接続・設定するために必要となります。

手順

1. スマートフォンのBluetoothを有効化。
2. ダッシュボードの「充電器を設定する」(図1)を選択。
3. 「利用可能なデバイスの一覧」に表示された充電器を選択。7にお進みください。
※ 充電器が表示されない場合は4にお進みください。
4. 「バーコードを読み取る」(図2)
5. 充電器右側面のバーコード(図3)を読み取る。7にお進みください。
※ バーコードは2つございますが、上にあるもの(TACW...)を読み取ってください(図2)。
※ バーコードの読み取りが困難な場合は6にお進みください。
6. 「SNを手動で入力する」(図4)を選択し、製造番号を入力。7にお進みください。
※ TACWから始まるシリアルナンバーをハイフン抜きで入力してください。
例: TACW612345P1234 (“TACW”と“P”以外はずべて数字)
7. Terra AC Wallboxと同梱されている白い冊子見開きにあるカード(図4)に記載のPINコードを記入。
8. 「OK」を選択。

図1



充電器を設定する

図2



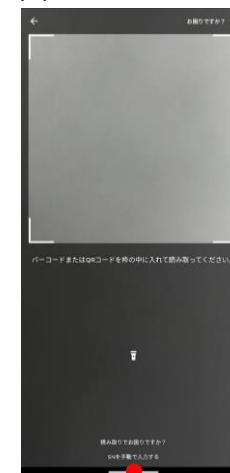
バーコードを読み取る

図3



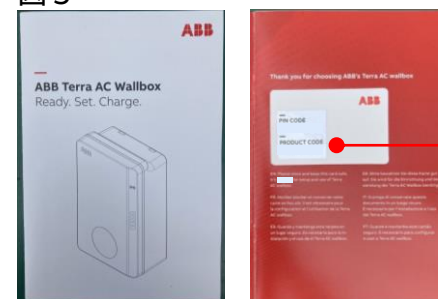
上側のバーコードを読み取る

図4



「SNを手動で入力する」

図5



PINコード

充電器の設定（概要）

概要

設定項目の概要説明

1. 名称 : アプリ内で表示される充電器の名称の設定
※ OCPPのcharge point idとは別物です。
2. 場所 : 充電器設置場所の設定
3. 自由充電 : 充電使用時の認証可否の設定
4. 接続 : インターネット接続（WiFi, 4G, Ethernet）の設定
5. OCPPサーバー : OCPPサーバーのURL、Charge point idの設定
6. エネルギー管理 : ユーザーが設定可能な最大電流の制限
7. 入力/出力 : 接点信号の設定
8. スケジュール : 曜日・時間ごとの出力制限の設定



充電器の設定（名称、場所）

概要

アプリ内で表示される充電器の名称の設定

- ※ OCPPのcharge point idとは別物です。
- ※ OCPPのcharge point idの設定はp. 11をご参照ください。

手順

1. スマートフォンを充電器に接続
 - ※ 接続方法は、本書「充電器に接続」を参照ください。
2. 名称を選択（図 1）
3. 名称を記入
 - ※ デフォルトの設定は充電器のシリアルナンバーとなります

概要

充電器設置場所の設定

手順

1. スマートフォンを充電器に接続
 - ※ 接続方法は、本書「充電器に接続」を参照ください。
2. 場所を選択（図 2）
3. 場所を記入
 - ※ 携帯の位置情報がONになっている場合、現在地を取得するボタン（図 3）より、現在地を場所に設定することが可能です。

図 1

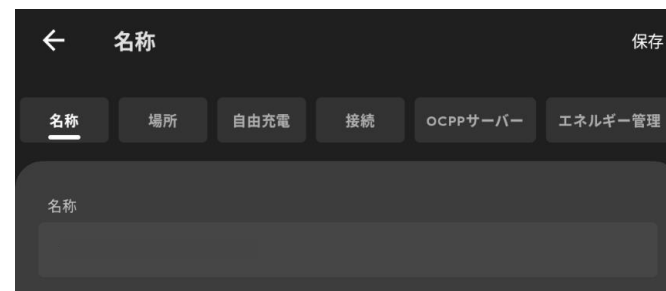


図 2



図 3



現在地を取得する

充電器の設定（自由充電）

概要

充電使用時の認証要否の設定

※ OCPPのAuthorizeを使用する場合、自由充電をOFFにしてください。

手順

1. スマートフォンを充電器に接続

※ 接続方法は、本書「充電器に接続」を参照ください。

2. 自由充電を選択

3. 認証なしで充電器を利用する場合、自由充電をONにする（図1）

4. 認証ありで充電器を利用する場合、自由充電をOFFにする（図2）

図 1

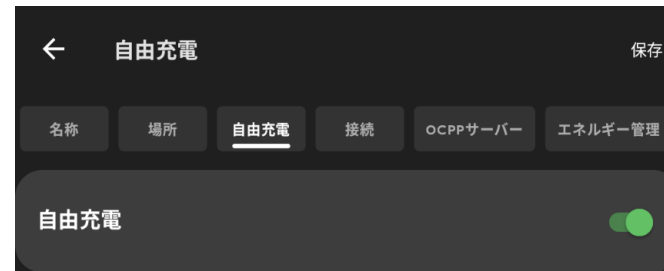
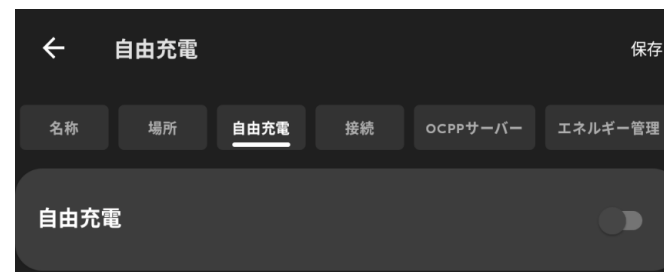


図 2



充電器の設定（接続）

概要

インターネット接続（WiFi, 4G, Ethernet）の設定

手順

1. スマートフォンを充電器に接続

※ 接続方法は、本書「充電器に接続」を参照ください。

2. 接続を選択（図1）

3. Wi-Fiを使用する場合（図2）

3 - 1. Wi-FiをON () にする

3 - 2. Wi-Fiの名称、パスワードを入力

4. 4Gを使用する場合（図3）

4 - 1. 4GをON () にする

4 - 2. 自動検出をOFF () にする

4 - 3. SIMカードのAPN、ユーザー名、パスワードを入力

※ 4 - 3にて設定する情報はSIMカードのプロバイダーより取得ください。

5. イーサネットを使用する場合

5 - 1. イーサネットをON () にする

5 - 2. ネットワークの自動設定をOFF () にする

5 - 3. IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、優先DNSサーバーを入力

図1



図2

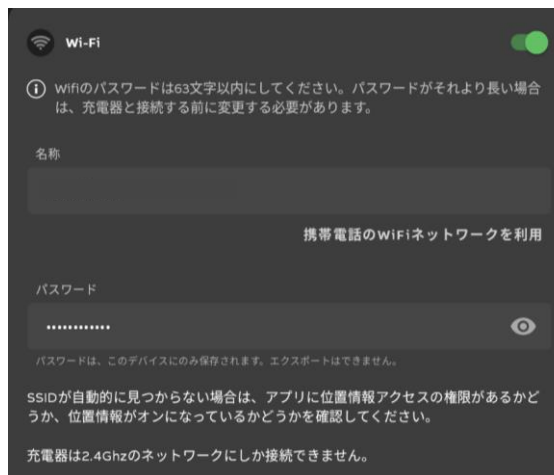


図3



図4



充電器の設定（OCPPサーバー）

ABBのデフォルトのサーバーを使用する場合

概要

ChargerSync Portalを使用する場合、又はChargerSync AppをBluetoothではなく遠隔から使用する場合に該当します。

手順

1. スマートフォンを充電器に接続
※ 接続方法は、本書「充電器に接続」を参照ください。
2. OCPPサーバーを選択（図1）
3. 外部サーバーを有効化をOFF（）にする（図1）

図1



充電器の設定（OCPPサーバー）

外部のサーバーを使用する場合

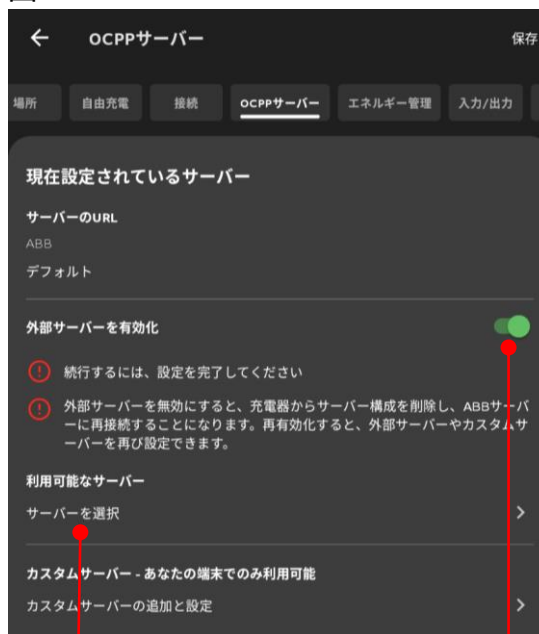
概要

URLとcharger point idの指定。

手順

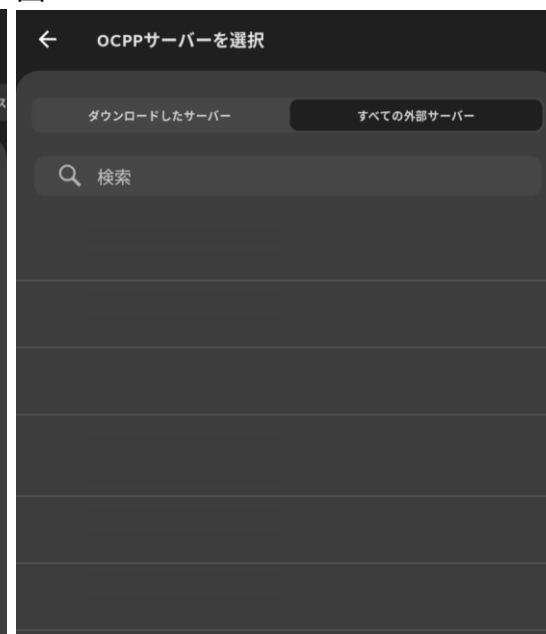
1. TerraConfig Portal にて事前設定をする。
 - ※ 別紙 TerraConfig Portal 取扱説明書をご覧ください。
2. スマートフォンを充電器に接続。
 - ※ 接続方法は、本書「充電器に接続」を参照ください。
3. OCPPサーバーを選択（図1）。
4. 外部サーバーを有効化をONにする（図1）。
5. サーバーを選択を選択（図1）。
6. Step 3 で設定したサーバーの一覧が表示される（図2）。
7. 使用するサーバーを選択し、ダウンロード、構成を押す（図3）。
8. 充電器名に充電ポイントIDを指定し、設定を確認を押す（図4）。

図1



サーバーを選択

図2



外部サーバーを有効化

図3



図4



充電ポイントIDを指定



充電器の設定（エネルギー管理）

概要

出力最大電流の制限。

手順

1. スマートフォンを充電器に接続

※ 接続方法は、本書「充電器に接続」を参照ください。

2. エネルギー管理を選択（図1）

3. 上段の電流制限で使用時に使用者が変更できない最大電流値を設定する（図1）。

4. 下段の電流制限で使用時に使用者が変更できる最大電流値を設定する（図1）。

※ Terra AC Wallboxは使用者用管理アプリChargerSync Appにより出力最大電流の設定が可能です。

上記1の設定は、ChargerSync Appによって設定できる最大値の設定です（系統容量やブレーカー容量の関係で、出力が制限される際に使用ください）。

上記2の設定は、ChargerSync Appにより、後々使用者が変更可能な電流値の設定です（充電器の出力の初期値の設定のためご使用ください）。

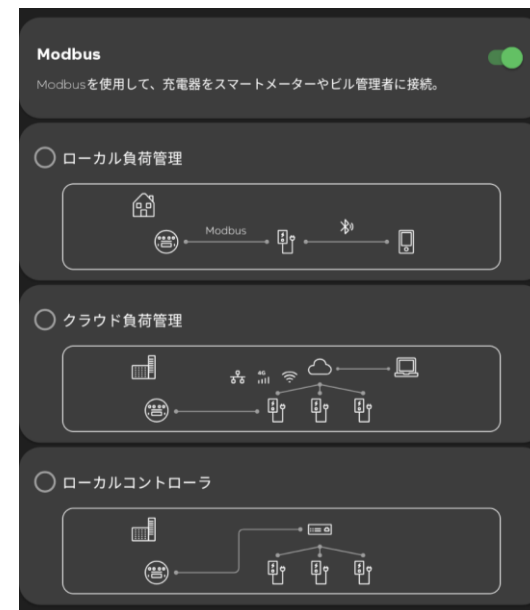
5. Modbusの設定を行う

※ 別売のスマートメーターを用いて、エネルギーマネジメントを行う場合のみ

図 1



図 2



充電器の設定（入力/出力）

概要

接点信号の入力、出力の設定。

入力出力それぞれにより、どの情報をやり取り可能かの設定ができます。

手順

1. スマートフォンを充電器に接続

※ 接続方法は、本書「充電器に接続」を参照ください。

2. 入力/出力を選択（図1）

3. 入力をON（）にする（図1）。

4. 入力を入れた際の充電器の動作を選択する。

- ・一時停止
- ・自由充電
- ・有効化または無効化

5. 出力をON（）にする（図2）。

6. 出力により通知する信号の内容を選択する。

- ・パワーリレーガード
- ・充電中
- ・アクティブセッション
- ・利用可能
- ・エラー

図1



充電器の設定（スケジュール）

概要

曜日・時間ごとに出力を最大出力電流値を設定できます。

手順

1. スマートフォンを充電器に接続

※ 接続方法は、本書「充電器に接続」を参照ください。

2. スケジュールを選択（図1）

3. 設定する時間帯と曜日を選択（図1）

4. 設定する最大電流値を設定（図1）。

5. 追加を押す（図1）。

図 1



充電器の設定（設定を充電器に反映）

概要

pp. 6 - 14 にて設定した内容を充電器に反映します。

手順

1. pp. 6 - 14の設定画面の右上の保存を選択（図1）。
 2. ページ下部の設定を確認を選択（図2）。
- ※ 設定が反映されるまで数分かかる場合がございます。

図1

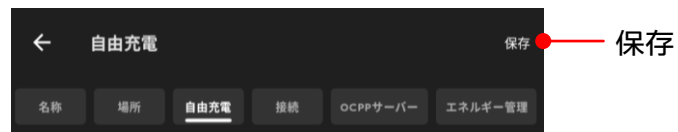


図2



設定のリセット

概要

充電器の設定等をリセットします。

手順

1. スマートフォンを充電器に接続
※ 接続方法は、本書「充電器に接続」を参照ください。
 2. 右上の ⓘ を選択（図1）。
 3. ページ下部の充電器リセットを選択（図2）。
- ※ リセットされるまで数分かかる場合がございます。

図1

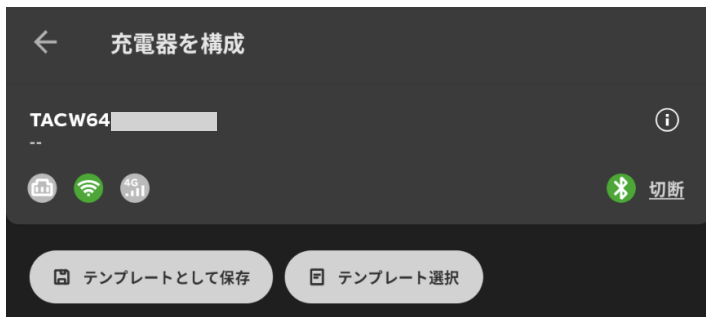


図2



充電器リセット

